

2018年度

履修要綱

白鷗大学

教育学部 発達科学科

2018年度生

学籍番号

氏名

※この履修要綱は、卒業まで使用します。大切に保管してください（在学中一度のみ配付）。

2018年度

履修要綱

白鷗大学

教育学部 発達科学科

目 次

ー全学共通項目ー

履修の手続き	7
1. 履修科目の決定から履修登録完了までの流れ	
試験および成績	9
1. 単位の修得および成績評価	
2. レポート	
3. 試験の種類・方法	
4. 成績	

ー科目履修案内ー

<全専攻共通>

教育課程	19
1. 単位の計算	2. 単位の認定
3. 授業科目の区分・性格等	4. 履修年次
5. 年間最高履修単位数	6. 進級について
7. 修業年限・在学年限	8. 卒業要件
9. 再履修について	10. カリキュラムの適用について
教職課程・保育士課程	25
1. 取得できる免許（資格）の種類及び組合せ	
2. 取得方法について	

目 次

I	児童教育専攻	29
	1. 児童教育専攻	
	(1) I群：外国語必修科目	(2) II群：外国語・教養選択科目
	(3) III群：専攻必修科目	(4)・(5) IV群：専門選択科目, V群：卒業研究
	(6) 自由選択	(7) 実習科目
	(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目	(9) 随意科目
	(10) 再履修について	
	2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 児童教育専攻）	
	3. 児童教育専攻 卒業と免許・資格別所要単位数	
II	スポーツ健康専攻	45
	1. スポーツ健康専攻	
	(1) I群：外国語必修科目	(2) II群：外国語・教養選択科目
	(3) III群：専攻必修科目	(4) IV群：専門選択科目
	(5) V群：卒業研究	(6) 自由選択
	(7) 実習科目	(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目
	(9) 随意科目	(10) 再履修について
	2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 スポーツ健康専攻）	
	3. スポーツ健康専攻 卒業・免許別所要単位数	
III	英語教育専攻	59
	1. 英語教育専攻	
	(1) I群：外国語必修科目	(2) II群：外国語・教養選択科目
	(3) III群：専攻必修科目	(4) IV群：専門選択科目
	(5) V群：卒業研究	(6) 自由選択
	(7) 実習科目	(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目
	(9) 随意科目	(10) 再履修について
	2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 英語教育専攻）	
	3. 英語教育専攻 卒業・免許別所要単位数	
IV	心理学専攻	73
	1. 心理学専攻	
	(1) I群：外国語必修科目	(2) II群：外国語・教養選択科目
	(3) III群：専攻必修科目	(4) IV群：専門選択科目
	(5) V群：卒業研究	(6) 自由選択
	(7) 実習科目	(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目
	(9) 随意科目	(10) 再履修について
	2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 心理学専攻）	
	3. 心理学専攻 卒業・免許別所要単位数	
	履修要綱等の配付について	87
	担当窓口一覧	88

全学共通項目

履修の手続き

履修登録とは

履修登録とは、定められた期間に指定の方法で履修する授業科目を登録する手続きです。この手続きが完了しないと授業を受けることはもちろん、その科目の試験を受けることもできず単位も認定されません。

全ての授業科目は、大学の指定する期間に登録しなければなりません。

履修登録をするにあたり、各自卒業要件に照らして履修計画をたて、『履修要綱』および『シラバス（講義概要）』をよく読んだ上で、事前に時間割を作成しておいてください。

1. 履修科目の決定から履修登録完了までの流れ

(1) カリキュラムに関係する書類

次の資料を参照し、受けたい授業や卒業に必要な単位数などを確認してください。
特に履修要綱は熟読し、活用してください。

	資料	内 容
①	履修要綱	カリキュラム（教育課程）や学修におけるルール、履修や試験・評価について、卒業に必要な単位などを掲載しています。（本冊子。1年次のみ配付し、卒業まで使用します。）
②	シラバス （講義概要）	シラバスには授業の進め方（計画）、講義の目的、評価方法など、授業に関して詳細な事項が記載されています。どの授業を履修するか検討する際に重要となります。授業の進行状況に応じて、教員が内容を変更する場合があります。 常に最新版のシラバスを Web で確認してください。 Web シラバスの閲覧方法：大学ホームページ (http://hakuoh.jp/) から閲覧
③	時間割・履修登録の手引き	1年間の時間割や、履修登録に関する各日程や方法の詳細を掲載しています。前年度から変更となった事項なども掲載しますので、履修登録をする際には十分に確認してください。（時間割は毎年配付します。最新年度の時間割で確認してください。）
④	CampusPlan portal 学生ユーザーマニュアル	履修申請（登録）はインターネットに接続された自宅・学内のパソコンやスマートフォンで「CampusPlan portal」にログインして行います。「CampusPlan portal」での履修申請（登録）や確認の方法など、操作方法を掲載しています。

(2) 履修ガイダンス（新入生のみ）

4月にカリキュラムや授業・試験に関する説明を行います。授業の履修の仕方、授業出席の注意事項、定期試験受験の条件など、大学で授業を受け、単位を修得するために必要な事項の説明が主になります。

必ず出席し、不明な点は質問して解決してください。

(3) 時間割作成（学生が個々に作成）

ガイダンスを受講した後、配付物（履修要綱や時間割）を基に、どの科目を履修するかを一年間の時間割として学生が組み立てていきます。科目によっては、履修する曜日・時限が決められていたり（クラス指定など）、授業で使用する機器の事情から履修できる人数が決まっている場合があります。配付物と web シラバスで履修に関する注意事項を確認し、自分で時間割を作成してください。

(4) 指定の履修登録期間に履修登録をする

『時間割・履修登録の手引き』で履修登録期間およびログイン時間を確認し、決められた期間に、自分で作成した時間割に基づいて履修申請（登録）をしてください。授業によっては、初回授業時に教室で抽選処理を行うことがありますので、確認して指示に従ってください。

〔注意〕＊履修申請（登録）のためにログインできる時間が決まっています。履修申請（登録）作業中にログイン時間を過ぎると、作業中の内容は保存されません。ログイン時間内に履修申請（登録）を終えるようにしてください。

ログイン中に終了できなかった場合には、翌日以降のログイン時間に再度履修申請（登録）してください。

＊履修申請（登録）をおこなっても、人数制限授業や抽選対象となった授業が含まれている場合、抽選結果発表前は結果が反映されていません。

抽選対象となった授業については、結果発表日以降に「CampusPlan portal」より「Web 履修申請」（履修登録メニュー画面）にログインし、「履修チェック結果（時間割）」の「抽選結果参照」画面から確認できます。登録した科目が抽選の対象となっていないか、抽選となっていた場合は「○：受講可」・「×：受講不可」の結果を確認するなど、全授業科目について「科目名」「担当教員名」「曜日・時限」などを確認しなくてはなりません。

＊履修登録に関する詳細な説明は、『時間割・履修登録の手引き』に掲載されます。

(5) 履修確認期間に履修状況を確認する

履修申請（登録）した科目内容は「CampusPlan portal」の「Web 履修申請」のメニューから「履修状況表示（時間割）」で確認できます。履修申請（登録）した科目（抽選をおこなった授業で受講可となった科目を含む）の登録が完了しているか、確認してください。

〔確認方法〕「科目名」「担当教員名」「開講曜日・時限」などの内容を確認してください。

(6) 履修登録科目を修正する必要がある場合

万一、登録されていない、修正する必要がある、等の場合は、指定の修正期間中に修正登録を完了してください。

〔注意〕・教員に直接申し出ても、履修の変更はできません。必ず「CampusPlan portal」にログインし各自が履修申請（登録）の修正を行ってください。

・修正した場合には、「CampusPlan portal」の「Web 履修申請」のメニューから「履修状況表示（時間割）または（一覧）」で確認し、正しく修正されているか確認してください。

・履修登録が確定されていない科目への出席や試験の受験は、一切認められません。単位を修得することもできません。

・履修修正期間などに、履修登録に関する方法が変更となる場合もあります。変更については掲示板で案内しますので、必ず確認し指示に従ってください。

(7) 履修登録の確定

当該学期の履修登録が確定した授業科目について、「Web 履修申請」の「履修状況表示（時間割）」で確認し、エラーがなくなって完了となります。

試験および成績

1. 単位の修得および成績評価

履修登録した科目の単位認定を受けるためには、定期試験を受験しなければなりません。ただし、科目によっては、平常授業の成績やレポート、実技・実習等により行われる場合もあります。各科目のシラバスに記載された成績評価の方法をよく確認してください。

2. レポート

授業科目によりレポート提出が求められることがあります。

(1) 作成時の注意事項

① レポートは独力で作成すること

他人が書いたもの、書籍、Webなどの内容を引用する場合は、その箇所を明確に区分し、その出所を明示しなければなりません。明示されていない場合には、自分が書いたように装って作成したとみなされ、不正行為となります。

また、グループで学習した場合に、同じ内容のレポートを個別に提出することは、認められません。

② 使用するレポート用紙について

担当教員より「大学指定レポート用紙」の指示がある場合は、授業内で授業用レポート用紙が配付されます。

レポート用紙を配付した授業を欠席した場合には、科目担当教員へ申し出てください。

教員から窓口での配付依頼があった場合のみ、「窓口配付用レポート用紙」を担当窓口でお渡しします。

「大学指定レポート用紙」の指定がない場合は、市販のものを用意してください。

(2) 課題発表について

① 課題発表日に授業を欠席してしまった場合

欠席した授業中に課題が発表された場合には、詳細は科目担当教員に確認してください。

* 教員の出講日については担当窓口で確認することができます。また、教員のオフィスアワーも活用してください。

* 授業の欠席については、学生のとびきや学生手帳に記載のとおりです。

* 最終授業を欠席した場合の欠席届提出方法については、前期は7月中旬、後期は1月中旬に掲示予定です。

② 掲示による課題発表

課題は学内掲示板に掲示する場合があります。また、教育支援システム (Web Class) を利用している授業では、教育支援システム (Web Class) で発表される場合があります。

掲示内容についての不明点は、科目担当教員に確認してください。

(3) 提出時の注意事項

①科目担当教員の指示に従い提出すること

表紙の有無、提出期限、提出場所など、科目担当教員の指示に従ってください。

提出先が「レポート回収ボックス」の場合は「(4)レポート回収ボックスについて」、「Web Class」の場合は「(5)Web Classについて」を参照してください。

教員メールBOXへの投函および郵送による提出は認められず、無効となります。

※担当窓口ではレポート提出を受付けません。

②表紙について

学科・専攻により異なる色のレポート表紙が、担当窓口外に常時設置されています。

黒または青のペンで各項目を記入し、ホチキスや紐で綴じてください。

③提出期限の厳守について

提出期限を過ぎたレポートは、いかなる理由があっても一切受理しません。

また、一旦提出したレポートは、一切返却しません。

(4) レポート回収ボックスについて

科目担当教員から「レポート回収ボックス」へ提出の指示があった場合は、授業を実施しているキャンパスの「レポート回収ボックス」に提出してください。

なお、ボックスには科目名・担当教員名が表示されていますので、よく確認し、投函してください。

【設置場所】

2018年2月現在

本キャンパス	本館2階ロビー（エレベータ前）
大行寺キャンパス	本館1階ロビー入口 2号館3階エレベータ前

※次のようなレポートは、投函されても評価対象外となります。

①受付中ではないもの ※ボックスに表示している科目もあります

②不備があるもの

例) 氏名や学籍番号の記入忘れ

ボックスの入れ間違い

提出期限を過ぎている

表紙が綴じられていない（表紙添付の指示があった科目の場合）

(5) Web Classについて

科目担当教員から「Web Class」へ提出の指示があった場合は、指示内容に従い作成したファイルを所定コースにアップロードしてください。

3. 試験の種類・方法

(1) 試験の種類

定期試験 前期末に実施する前期定期試験と、後期末(学年末)に実施する後期定期試験があります。

追試験 「白鷗大学試験実施規程」の定める事由により、定期試験を受験できなかった場合に実施することがあります。

再試験 「白鷗大学試験実施規程」の定める要件を満たした場合に、卒業見込生を対象に実施することがあります。

その他 科目によっては、必要に応じて随時試験を行うこともあります。

(2) 試験の方法

筆記試験や、実技・実験・実習などがあります。定期試験期間は、主に筆記試験を対象としています。その他の評価方法の場合は、担当教員から指示を受けてください。

(3) 各試験の詳細

定期試験 前期および後期の年2回、一定の期間(学事日程参照)に時間割を決めて実施します。

1) 試験時間割

①実施する科目および時間割は、試験開始期間の1週間前までに掲示板および白鷗大学ホームページに発表します。

時間割発表後に変更が生じることもあります。試験前に再度確認してください。

②試験期間中の時間区分は、平常授業と異なりますので注意してください。

<定期試験期間中の時間区分>

1時限	2時限	昼休み	3時限	4時限	5時限	6時限
9:00	10:30	11:30	13:00	14:30	16:00	17:30
∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫
10:00	11:30	13:00	14:00	15:30	17:00	18:30

※60分以上の試験科目が設定される場合もあります。

③原則として授業時間割どおりの曜日・時限で実施しますが、合同実施の科目や、試験時間が70分を超える科目など、授業時間割と異なる曜日・時限で実施する場合がありますので、よく確認してください。時間割の見間違いによる未受験は、追試験の対象となりません。

④週2回開講の科目については、どちらか一方の曜日・時限で実施します。

⑤試験実施教室は、平常授業の実施教室と異なる場合があります。また、科目によっては複数の教室で実施する場合がありますので、所属学科・専攻や学籍番号を確認し、間違いのないように試験を受けてください。

⑥試験時間割発表後、災害など突発的な事情により試験を実施できなくなった場合の代替日として「試験予備日」を設定していますので、学事日程で確認しておいてください。試験予備日に実施することになった場合は、掲示板およびホームページで連絡します。

2) 受験資格

受験するにあたっては、次の条件をすべて満たしていることが必要です。なお、下記以外の事由により受験資格に欠格がある場合には、受験を認めません。

- ①当該試験科目について、所定期間内に履修登録を完了していること。
- ②授業料その他の学生納付金をすべて納入していること。
- ③原則として、当該科目のすべての授業回数の3分の2以上に出席していること。
※科目担当者が認定します。3分の2以上の出席は、不可抗力による欠席の可能性を考慮してのことであり、3分の1まで欠席してもよいということではありません。
- ④在学期間中であること。(休学期間、停学期間中ではないこと。)

3) 受験上の注意

受験の際は次の点に注意してください。

- ①受験科目は履修登録した授業科目に限ります。未登録の授業科目を受験しても、評価の対象にはなりません。
 - ②指定された教室(座席が指定されている場合は指定教室の指定座席)で受験すること。
 - ③必ず「学生証」を持参し、机上に提示すること。(顔写真照合を行うため、表面にシール等がはられている場合は剥がしておくこと。)
 - ④試験開始後30分を経過した場合は受験できません。また試験開始後40分を経過するまでは退室できません。(ただし、監督者が別に指示をする場合はそれに従うこと。)
- ※公共交通機関の運行不能または20分以上の遅延により、遅刻した場合の受験については、次のとおりとなります。なお、必ず20分以上の延着時分が記載された交通機関の遅延証明書が必要です。
- 1) 30分以内の遅刻の場合
定期試験を受験するか、追試験を受験するかを選択してください。追試験を受験する場合は、担当窓口で手続きをしてください。
* 試験問題を確認してからの選択はできません。
 - 2) 30分を超えた遅刻の場合
定期試験を受験することはできません。
担当窓口で手続きし、追試験を受験してください。
- ⑤筆記用具(ペンケース、下敷き不可)および持込みを許されたもの以外は、鞆の中に入れて、足元などに置くこと。
携帯電話(スマートフォン)等の電子機器は電源を切って鞆の中に入れること。(時計代わりの使用も認めない。)
 - ⑥ノート、参考書等の持込みが許可されている場合は、自分の物を使用しなければいけません。また「六法」の持込みが許可されている試験において、特に指示がないにもかかわらず、書き込みのある「六法」を持込んだ場合は不正行為とみなします。
 - ⑦電子機器の持込みは教員から特別に指示があった場合のみ認められます。(すべて可の場合でも特別に電子機器使用の許可がない場合は、持込みは認められません。)
 - ⑧答案用紙(解答の有無にかかわらず)および出席カードに、学籍番号および氏名、その他必要事項を記入し、必ず提出すること。答案用紙を持ち帰ってはいけません。
 - ⑨その他試験会場内におけるすべてのことは、監督者の指示に従うこと。

【受験時の学生証取扱について】

①学生証を忘れた場合

「仮学生証発行願」に必要事項を記入し、200円の専用証紙を貼付の上、担当窓口へ願い出て、「仮学生証」の交付を受けてから受験してください。

仮学生証は、発行当日限り有効です。受験後は、交付された窓口へ必ず返却してください。

②学生証で本人確認できない場合

印字が消えて読めない場合や、顔写真が不鮮明で判別できない場合は、学生証不携帯と同様にみなされる可能性があります。必ず、試験期間前に再発行の手続きをしてください。新しい学生証は、申込み日の翌日（事務取扱休業日を除く）にお渡しします。

試験開始後に、試験監督者から指摘を受けた場合は、試験終了後「①学生証を忘れた場合」と同様に「仮学生証」の発行手続きをしてください。また、同時に、学生証の再発行手続きもしてください。

※「仮学生証」の交付は定期試験期間のみ行います。定期試験の受験以外には使用できません。

4) 次の場合は失格または無効となります。

- ①指定された時間および試験場で受験しなかった場合
- ②無記名の場合
- ③履修登録をしていない科目を受験した場合
- ④監督者の指示に従わない場合
- ⑤不正行為を行った場合

5) 不正行為

不正行為があった場合は、ただちに答案を没収し、学則・規程に基づき後日処置（当期試験科目をすべて無効とする、学業特待生資格の喪失、訓告または停学・退学などの懲戒処分）を決定し、学籍番号、氏名、処置内容などの学内への公示や保証人（保護者）への告知を行います。

不正行為とは、次のようなものをいいます。

- ①本人に代わって受験すること。または本人に代わって受験すること。〔代人受験〕
- ②試験の開始前に学生証を他人に貸与すること。または他人の学生証を所持・使用すること。〔学生証貸与〕
- ③答案を交換すること。またはその援助をすること。〔答案交換〕
- ④答案を試験会場の外へ持ち出すこと。〔答案持出〕
- ⑤答案の覗き見や、覗き見を助けたり強要するような行為。または、覗き見るような不審な行為。〔答案写し〕
- ⑥カンニングペーパーを所持、使用、貸借すること。〔カンニングペーパー使用・廻し〕
- ⑦机、椅子、壁、文房具、機器、所持品、身体その他、自分や他人が見える範囲のものに、書き込みまたはインプットすること。〔カンニング記載〕
- ⑧持込みが許されていない物を使用すること。〔禁止書類使用〕
- ⑨持込み許可の有無に関わらず、参考書・ノート・筆記用具等を貸借すること。〔書類廻し〕

- ⑩試験中に私語をすること。〔連絡相談〕
- ⑪試験中に、携帯電話（スマートフォン等）を使用すること。
- ⑫解答用紙配付後から試験開始前、または試験終了後から答案回収までの間に、筆記用具を持つこと。
- ⑬その他、上記各項目に類似する不正行為と認められる行為は同じく処置の対象となる。

なお、次のような行為は、不正行為と誤解を招く可能性もありますので十分注意してください。

- ・不正な学生証を使って試験を受けること。（顔写真の印刷が不鮮明なものや、上からシールを貼っているものなど）
- ・試験監督者の指示に従わない。

追 試 験

受験資格のある者が定期試験当日受験することができなかった場合、「白鷗大学試験実施規程」第8条に該当する場合、所定の手続きを経て認められたものに対し実施します。

1) 追試験が認められない事由

追試験が受験できる事由は、原則、下表の(1)～(7)のケースです。

次のような定期試験欠席の事由による追試験の申込みは、一切受け付けられません。学生は学業が優先であること、また、公的な欠席証明書の発行が出来ない事由であることを判断基準としています。

〔事由および必要書類（当該試験欠席を裏付ける第三者の証明書）〕

定期試験欠席の理由	必要な書類	受験料
(1) 天災その他の災害	官公庁の発行する被災証明書等	免除
(2) 公共交通機関の運行不能または遅延（20分以上の延着をいう。）	20分以上の延着時分が記載された交通機関の遅延証明書	免除
(3) 配偶者または二親等以内の親族の死亡による忌引	死亡診断書のコピーまたは会葬礼状	免除
(4) 就職試験（説明会、懇談会その他何らの名義の如何にかかわらず、当該理由が、代替不能なものであり、かつ、出席しない場合に内定者選考上重大な不利益を生じさせるものを含む。）、教員採用試験、公務員採用試験、入学試験	就職（採用）試験受験証明書または入学試験受験証明書（大学所定の用紙）	
(5) 本学で定められた実習（教育実習、保育実習等）への参加	実習指導室の証明書	免除

(6) 負傷または疾病	医師の診断書（欠席当日に安静が必要である旨の記載があるもの） 学校感染症の場合は学校感染症治癒証明書（大学所定の用紙）	△1
(7) 裁判員法（平成十六年法律第六十三号）に基づく裁判所からの呼出しに応じた出頭	裁判所が発行する証明書	免除
(8) その他教務委員会において相当と認める事由	教務委員会が提出をもとめたもの	△2

△1 学校感染症の場合は受験料免除。

△2 教務委員長の決定により受験料が免除される場合がある。

2) 手続き期間

- ①試験時間割発表から、当該試験実施日の翌々日（事務取扱休業日を除く）までの事務取扱時間内とします。
- ②実習や就職試験など、あらかじめ定期試験を受験できないことが分かっている場合は、事前に手続きを行い、許可を受けてください。
- ③期間内に担当窓口での手続きが困難な場合（入院など）は、必ず手続き期間内に電話で連絡してください。期間以降の対応はできません。

3) 手続き方法

- ①「追試験願」に、欠席理由を証明するために必要な書類（当該試験欠席を裏付ける第三者の証明書）を添えて担当窓口へ提出し許可を受けてください。
- ②原則として1科目につき1,000円の受験料を納入しなければなりません。
※免除されるときもあります。

4) 追試験日程

追試験日、時間割は掲示板および大学のホームページで確認してください。

※受験の際は「学生証」とともに「追試験願控」を提示してください。

5) 注意

- ①定期試験欠席の理由(2)について
渋滞や事故などの自家用車通学による事由は、追試験対象外となります。
- ②定期試験欠席の理由(3)について
配偶者または二親等以内の親族の死亡による忌引きの場合、追試験の受験資格が認められる事由に係る期間は、配偶者等が死亡した日から起算して7日以内とします。
- ③定期試験欠席の理由(4)(5)について
就職試験等および実習等が遠方で実施される場合は、必要に応じてその前後の移動日も含む場合があります。
- ④定期試験欠席の理由(6)について
疾病が学校感染症に該当する場合は、医療機関で本学所定の「学校感染症治癒証明書」の交付を受けてください。この場合に限り、医師の診断書は不要です。
- ⑤追試験を受験しなかった場合、再度の追試験は行いません。
- ⑥追試験による成績評価は、定期試験での評価に準じます。100%評価となり、減点はありませぬ。

再 試 験

再試験は、「白鷗大学試験実施規程」第10条により年1回学年末に実施します。

第10条 卒業所要単位に不足する単位の数が8単位以内である当該年度に卒業見込の4年生（留年生を含む）は、当該不足を補うのに必要な限りで、次に掲げる要件をすべて満たす科目の試験を再度、受けることができる。

- (1) 当該年度に履修登録を行なった科目であること
 - (2) 成績評価が「D」となった科目であること
 - (3) 当該科目が、各学部教授会が再試験の受験を認めていないものでないこと
- 2 前項の試験は、年1回、学年末に実施する。

1) 手続期間・再試験日程

手続期間および再試験日、時間割は掲示板で確認してください。

※受験の際は「学生証」とともに「再試験願控」を提示してください。

2) 手続方法

- ①「再試験願」に必要事項を記入し、担当窓口へ提出し、許可を受けてください。
- ②1科目につき6,000円の受験料を納入してください。

3) 注意

- ①再試験を受験しなかった場合、再試験の追試験は行いません。
- ②再試験で合格となった場合の成績評価は、「C2」となります。
- ③再試験の受験を認めていない科目は、次項目を参照してください。追加・変更の場合は掲示にて案内します。

4) 再試験の対象とならない科目（教育学部）

教養特講（※再試験の有無については別途掲示）

専門特講（※再試験の有無については別途掲示）

他学部等履修科目のうち、当該他学部が再試験の対象としていないもの

「コンソーシアムとちぎ」での開講科目

「放送大学科目」

「随意科目」

【教育学部（2018年度入学者）】

全専攻共通科目			
フレッシュマンセミナー レクリエーション実技 レクリエーション実習 野外運動A(キャンプ) 野外運動B(雪上) 卒業研究 コミュニケーション能力を磨こう 体育実技A/体育実技B(児童教育専攻・英語教育専攻・心理学専攻のみ) 実習科目			
児童教育専攻	スポーツ健康専攻		英語教育専攻
ゼミナール 保育実践演習	陸上運動 器械運動 ダンス 身体運動演習(陸上運動) 身体運動演習(器械運動) 身体運動演習(表現運動) バスケットボール テニス サッカー 水泳	体づくり運動 スポーツ科学入門 トレーニング実習Ⅰ トレーニング実習Ⅱ ニュースポーツ 野外運動C(アドバンス) 体育・スポーツ実践 事例研究 スポーツ科学実験演習 スポーツ情報科学(入門)	English Study Skills Communication Skills Speaking & Listening A Speaking & Listening B Speaking & Listening C Basic Writing Intermediate Writing Advanced Writing Academic Writing 発音トレーニング
			心理学専攻 心理学研究法 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 心理実習Ⅰ 心理演習Ⅰ(心理面接) 心理演習Ⅱ(心理検査) 外書講読 心理学特別研究A 心理学特別研究B

	柔道 剣道 バレーボール 野球(ソフトボール) ラグビー	スポーツ情報科学(分析) 専門演習A1 専門演習A2 専門演習B1 専門演習B2	課題研究 海外留学 短期海外留学	
--	--	--	------------------------	--

4. 成績

評 価

- 1) 単位の認定
単位の修得は、定期試験の結果によりますが、授業科目によっては授業時間中の筆記試験・レポート提出・平常時の学修状況等により、総合的に考慮して判定することがあります。
- 2) 単位認定条件
試験の受験資格に、原則として授業への出席（2/3以上）が挙げられているように、単位の認定は授業への出席を条件とします。
また、学生納付金が完納されない場合は、受験しても単位は認定されません。
- 3) 成績評価
学業成績の評価は、シラバスに記載されている評価の方法および以下の基準に基づき行われます。なお、評価の表示は次のようになります。

判定	合 格					不合格	失 格
評価	100~90点	89~80点	79~70点	69~60点	再試験合格	認 定	59点以下 欠席多 試験・レポート等放棄
	S	A	B	C1	C2	N	D

- ① C2評価は学部生のみが対象となります。
- ② 就職活動等に使用する成績単位修得証明書には、SはA、C1・C2はCと表示され、D・Hは表示されません。
- ③ Nは修得単位として認定されたものです。
- ④ 2年連続履修科目の1年目に当たる科目については、単位が付与されないため評価は「*」と表示されます。

成 績 発 表

前期科目は8月中旬、通年・後期科目は2月下旬頃発表となります。日程は掲示板等で確認してください。

なお、通年科目の単位は、前期および後期の成績を総合して判定し、評価を付して学年終了時に与えます。従って、半期のみ履修しても、単位は与えられません。

- (1) 成績の確認
 - ① 成績発表日以降、「CampusPlan portal」の「学生カルテ」より「成績情報」メニューから確認できます。
 - ② 特に卒業見込生は細心の注意を払い、科目群ごとの卒業所要単位が充足されているか確認してください。合計単位数のみの確認では不十分です。科目の偏りが無いかに特に注意してください。

成績調査

- ③成績・単位の修得状況の確認は、卒業要件を考慮しながら履修計画を立てるために重要なことですので、成績発表後は必ず確認してください。
- ④保証人の方は、専用サイト「アンシサイト（インターネット上）」で確認することになります。利用方法は改めてマニュアルを送付します。

「CampusPlan portal」の「学生カルテ」より「成績情報」メニューで成績を確認し、シラバスに記載された評価方法、評価の基準および試験実施規程に照らし合わせた結果、評価に疑問がある場合には、成績調査を申請することができます。

1) 成績調査に関する注意事項

- ①成績調査は、評価に間違いがないかの確認を求めるとの目的であり、成績再考の願い出や情状を求めるとの目的など、「交渉権」を認めるものではありません。
- ②所定の期間以降の申請は一切受け付けません。成績調査期間以降に到着したことによる成績調査期間終了後の調査申請については一切受け付けません。
- ③学生から直接担当教員に申請することはできません。

2) 申請方法

担当窓口で「成績調査申請書」を受取り、必要事項を記入の上、所定期間に提出してください。提出時には必ず「成績通知表」を持参してください。

電話、メール、FAXによる申請はできません。

〔成績調査期間〕

- ①前期科目・・・8月中旬の所定の期間
 - ②通年・後期科目・・・2月下旬の所定の期間
- ※日程は掲示板等で確認してください。

3) 回答について

原則、回答は郵送となります。（郵送料として、一科目につき82円を切手で徴収します。）

卒業発表

卒業判定会議終了後、判定結果を保証人（保護者）宛住所に通知するとともに、卒業確定者を学内掲示板に掲示します。（3月上旬予定）

卒業確定者は、卒業式に出席し、卒業証書・学位記の授与を受けてください。

なお、卒業判定結果に関する電話・メールなどによる問い合わせには一切応じません。

科目履修案内

<全專攻共通>

教 育 課 程

単位制と単位について

大学における教育課程は、「大学設置基準」（文部科学省令の1つ）に定められている単位制に基づいています。

“単位制”とは、所定の授業科目を履修したうえで、その授業科目ごとに定められている単位を順次修得し、原則として4ヶ年の在学期間のうちに卒業に必要な単位を修得するという制度です。

単位制における“単位”とは、その授業科目の内容を会得するのに必要な学修時間を示したものであり、原則として1単位当たり45時間となっています。この時間には授業時間も含まれていますが、それはほんの一部にすぎません。したがって、単に授業を受けるだけではなく、担当教員の学修指導に従い、授業の予習や復習をしたり、自発的な学修をしなければなりません。

単位制と単位は、卒業要件を満たしていくうえで、最も基本的かつ重要な事項ですから、きちんと理解しておいてください。

全専攻
共通
教育課程

1. 単位の計算

本学では、1コマの授業を90分で行い、これを2時間として、大学設置基準に基づき、本学の学則により、次の範囲で単位を計算しています。

(注)・半期授業回数を15回として計算した場合
・通年授業回数を30回として計算した場合

授業形態別の単位に対する学修時間

授業形態	1単位あたりの時間数	週1回の授業 (1コマ90分)	1単位に対し45時間の学修時間が必要単位(学修必要時間)	授業回数	週1回の授業に対する学生の授業時間外の学修時間
講義科目・演習科目	授業15～30時間で1単位	半期授業	2単位(90時間)	15回	4時間
		通年授業	4単位(180時間)	30回	
	週2回の科目	半期授業	1単位(45時間)	15回	1時間
		通年授業	2単位(90時間)	30回	
		通年授業	4単位(180時間)	60回	1時間 (週2回で2時間)
及び 実験・ 実技・ 科目習	授業30～45時間で1単位	学外での 実習	2単位(90時間)		実習の種類により異なる 仮に1日8時間で計算すると11.3日間
			4単位(180時間)		実習の種類により異なる 仮に1日8時間で計算すると22.5日間
		半期授業	1単位(45時間)	15回	1時間
		通年授業	2単位(90時間)	30回	

(授業形態や授業内容、授業開講期間等によって単位数が異なる。)

2. 単位の認定

履修した単位の認定は、原則として定期試験の結果によりますが、授業科目によっては教室における授業時間中の筆記試験・レポートの提出・平素の学修状況等により、総合的に考慮して判定することがあります。履修登録する前に、この『履修要綱』および『シラバス（講義概要）』をよく読んで確認してください。

3. 授業科目の区分・性格等

授業科目の区分 授業科目は、次のように区分されています。

児童教育専攻・スポーツ健康専攻・英語教育専攻・心理学専攻	
I群	外国語必修科目
II群	外国語・教養選択科目
III群	専攻必修科目
IV群	専門選択科目
V群	卒業研究
* 卒業所要単位には含まれない科目	
実 習 科 目 *	
随 意 科 目 *	

授業科目の性格 授業科目の性格は、次のように区分されています。

- (1) 必修科目：必ず履修しなければならない科目
- (2) 選択必修科目：定められた一定の範囲の中から、必要な単位数や科目数だけ必ず履修しなければならない科目
- (3) 選択科目：履修するかどうかを自由に選択できる科目
- (4) 実習科目：卒業所要単位数には含まれないが、各種免許・資格取得のために必要な科目
- (5) 随意科目：卒業所要単位数には含まれない科目

セメスター制

本学では、“セメスター制”を導入しています。

セメスター制とは、1年間を前期と後期の2つの学期に分割し、その学期ごとに授業科目を開講・完結することを原則とする制度です。セメスター制の下では、定期試験や成績発表は学期ごとに行われます。

★注意：「時間割」は、年度始めに前期分と後期分を一括して発表します。

開講期間等

半期科目…前期または後期で授業を開講します。

通年科目…前期と後期の1年間を通して授業を開講します。

集中講義…1日に数時間集中して授業を行ったり、宿泊等で開講します。

4. 履修年次

履修年次 授業科目により、履修できる年次が決められています。これらの授業科目については、上級年次の学生が下級年次の授業科目を履修することはできませんが、下級年次の学生が上級年次の授業科目を履修することはできません。
科目の性質によりステップを踏んで履修した方が、学修効果が上がるものもあるため、『履修要綱』・『シラバス（講義概要）』を参照し、学修手順に十分配慮して履修してください。

5. 年間最高履修単位数

年間最高履修単位数

教育学部では45単位です。

前期と後期を合わせて1年間に履修できる単位の上限です。したがって、各年次において1年間に45単位を超えて履修登録はできません。また、前期に登録した授業科目のうち、不合格等で単位を取得できなかった分の単位数について、後期に45単位を超えて履修登録することはできません。

★注意：実習科目・随意科目の単位は、これに含まれません。

6. 進級について

進級要件 進級に必要な要件はありません。休学等の場合を除き、自動的に4年次まで進級します。ただし、4年間で卒業所要単位数を充足できない場合には、4年次に留年することになります。

7. 修業年限・在学年限

修業年限 修業年限（大学で学ぶために必要な期間）は4年です。
在学年限 在学年限（在学可能な期間）は特別な場合を除き8年です。
〔「学則」参照のこと〕

8. 卒業要件

- 卒業要件** ①4年の修業年限を満たしていること。(休学・停学・除籍の期間は算入しません。)
 ②学生納付金(学費)を完納していること。
 ③卒業所要単位数を充足していること。

卒業認定 上記の3つの要件を満たした者は、教授会の議を経て、学長より卒業の認定を受けます。卒業の認定を受けたものには、卒業証書が授与されるとともに、“学士(発達科学)”の学位が与えられます。

卒業所要単位数

科目群名	児童教育専攻	スポーツ健康専攻	英語教育専攻	心理学専攻
I群 外国語必修科目	4単位	4単位	4単位	4単位
II群 外国語・教養選択科目	16単位	16単位	16単位	16単位
III群 専攻必修科目	1単位	1単位	1単位	1単位
IV群 専門選択科目	74単位	74単位	74単位	74単位
V群 卒業研究	4単位	4単位	4単位	4単位
自由選択	25単位	25単位	25単位	25単位
合計	124単位	124単位	124単位	124単位
実習科目	(注1)	(注1)	(注1)	(注1)
随意科目	(注2)	(注2)	(注2)	(注2)

(注1) 当該免許・資格に開設された科目の履修を必要とするが、卒業所要単位数に含まれない。

(注2) 卒業所要単位数には含まれない。

9. 再履修について

再履修とは 以前に履修し「不合格」「失格」となった授業科目・科目区分について不足単位数を再び履修することです。

再履修方法 上級年次の学生は、下級年次の授業科目を履修することができます。各科目の再履修方法の概要は次のとおりですが、詳細については、『時間割・履修登録の手引き』を参照してください。
 ※再登録・未修得の学生も再履修者と同様の手続きが必要になります。
 ※クラスを指定している授業科目もあるので掲示板等で確認してください。

10. カリキュラムの適用について

入学年度のカリキュラムが卒業するまで適用されます。
 ※カリキュラム、時間割等の資料を参照するときは、入学年度を十分に確認してください。
 ※科目の追加・変更がある場合は「時間割・履修登録の手引き」等で案内します。履修規程等も確認してください。

教職課程・保育士課程

1. 取得できる免許（資格）の種類及び組合せ

所属学部・専攻等		取得できる免許（資格）の種類及び組合せ
教育学部	児童教育専攻 小学校教育コース	小学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状
	幼児教育・ 保育コース	幼稚園教諭一種免許状 保育士資格
発達科学科	スポーツ健康専攻	中学校教諭一種免許状（保健体育） 高等学校教諭一種免許状（保健体育）
	英語教育専攻	中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語）
	心理学専攻	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（公民）

注意事項等については、該当入学年度の別冊「免許および資格取得の手引き」に掲載しています。

2. 取得方法について

免許および資格取得の詳細については、該当入学年度の別冊「免許および資格取得の手引き」に掲載しています。

科目履修案内

<専攻別>

I 児童教育専攻

II スポーツ健康専攻

III 英語教育専攻

IV 心理学専攻

教育学部 発達科学科

児童教育専攻

スポーツ健康専攻

英語教育専攻

心理学専攻

I 兒童教育專攻

1. 児童教育専攻

○教育目的

児童教育専攻は、学生一人ひとりの豊かな個性を活かし、国際化する社会の中で広い視野を持ち、乳幼児・園児・児童への深い理解に基づいた実践的な指導力を身につけた、信頼される保育士・幼稚園教諭・小学校教諭を養成する。さらに、教育学および他の関連学問の研究者を目指して大学院へ進学する者、また公務員や民間企業の職員として幅広く活躍できる人材を育成する。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）、ディプロマ・ポリシー（学位授与に関する方針）については大学ホームページをご覧ください。

児童教育

— 各科目の履修方法について —

教育学部の授業科目は、卒業に必要なⅠ群～Ⅴ群及び資格取得に必要な実習等科目によって科目区分されている。Ⅰ群～Ⅴ群ごとに卒業に必要な単位数が決められている。

これに従って単位を修得しなければ、卒業要件を満たすことはできない。

「Ⅰ教育課程－8. 卒業要件」（参照）

ここでは、卒業科目とその単位や履修年次および卒業するために必要な単位数などを表で表示している。どれも基本的かつ重要な事項のため、かならず熟読すること。

◆児童教育専攻 卒業所要単位

科目群名	卒業所要単位
Ⅰ群 外国語必修科目	4単位
Ⅱ群 外国語・教養選択科目	16単位
Ⅲ群 専攻必修科目	1単位
Ⅳ群 専門選択科目	74単位
Ⅴ群 卒業研究	4単位
自由選択	25単位
合計	124単位
実習科目	(注1)
随意科目	(注2)

(注1) 当該免許・資格に開設された科目の履修を必要とするが卒業所要単位数に含まれない。

(注2) 卒業所要単位数に含まれない。

(1) I 群：外国語必修科目

I 群：外国語必修科目……計2科目4単位が必修。

(2) II 群：外国語・教養選択科目

II 群の外国語・教養科目は全て選択科目となり、16単位以上修得すること。

(3) III 群：専攻必修科目

III 群：専攻必修科目……………1科目1単位必修。

「フレッシュマンセミナー」は文献資料の収集・整理・分析等の方法を学び、情報技術を体得し、教員や他の学生と討論したり準備が必要となる科目である。①大学の学習システムを理解すること。②「学ぶこと」の意味と方法を探ること。③キャンパスライフを豊かに送るために必要な情報を収集すること。④「読む」「書く」「発表する」など基本的能力を身につけることを目的とする。

(4)・(5) IV 群：専門選択科目， V 群：卒業研究**「ゼミナール」、 「卒業研究」 について**

大学で履修する科目は、講義形式と演習形式に大別される。講義形式の科目は履修者も多く、説明や板書による授業が中心で、ともすれば教員が一方的に内容を教授することが多い。これに対して演習形式の科目では、少人数の学生を対象とし、講義に加えて教員と学生とのディスカッションも行われ、双方向の授業が展開される。児童教育専攻には演習形式の科目が多数設定されているが、とりわけ「ゼミナール」と「卒業研究」では、担当教員と学生の間、学習・研究における指導は言うまでもなく、進路や人生の面にまで及ぶ人間関係が構築される。すなわち大学生活において最も学問探究の喜びを感じることができ、また人生について思索できる科目である。

3年次に履修する「ゼミナール（通年4単位）」は、担当教員の専門分野ごとに10名前後の学生によって構成される。2年次の後期に教員ごとに研究テーマが発表され、学生は関心のある教員を選択することになる。なお応募人数の状況によっては、志望理由書や面接等によって選考を行うこともある。この科目は必修科目ではないが、4年次の「卒業研究」へとつながる重要な科目であるので、履修することが望ましい。

4年次で履修する「卒業研究（通年4単位）」は、必修科目である。3年次の「ゼミナール」と同一の教員のもとで指導を受けることを原則とする。「ゼミナール」を履修しなかった学生は、担当教員を新たに選択することになるが、すでに「ゼミナール」から履修している学生だけで定員を満たしている教員の場合、希望に添えないこともある。この科目は卒業論文の作成

が中心であり、担当教員の専門分野に即したテーマで論文を構想し、執筆することになる。なお、研究領域によっては実技（制作や演奏等）を伴うことも考えられる。

なお、「卒業研究」は通年で履修することを原則とするが、海外留学等特別の事情が認められた場合に限って、「卒業研究（半期4単位）」を履修することができる。

(6) 自由選択

卒業所要単位にあるように、卒業するためにはⅠ群～Ⅴ群における科目群に必要な卒業所要単位数を修得しなければならない。各必要単位を合計すると99単位となる。卒業の要件の単位は124単位のため、残り25単位を自由選択単位として修得しなければならない。

この25単位には、①Ⅰ群～Ⅴ群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び、②他大学・他学部・他専攻履修（一部の科目）で修得した単位を充てることができる。

①②のうち何を選択履修するかは自由であるが、まず所属専攻において何について勉強・研究したいのか、関心を深めたい分野は何であるのかをしっかりと見極めて、与えられた「自由」を十分に生かした4年間の学業プランを練るよう心がけること。

(7) 実習科目

教育職員免許状や保育士資格取得に必要な科目で、課程登録している免許や保育士資格に該当する科目を修得しなければならない。この科目は、卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数には含まれない科目である。

(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目

教育学部は、他大学、他学部・他専攻（一部の科目）等の授業科目の履修で修得した単位については、自由選択単位として25単位を限度として卒業要件単位に認められることがある。

《他大学履修》

ア. 放送大学

単位互換協定に基づき、『特別聴講学生』として放送大学の科目のうち本学指定科目の履修ができる。

放送大学の出願手続きは、前年度内に行われるため既に本学経由で手続きを完了した者のみの履修となる。

イ. 交換留学制度

交換留学先の大学や募集要項については、国際交流室へ問合せください。

募集要項は掲示しますので、希望者は所定期間内に志願し、手続きをしてください。

《他学部・他専攻履修》

所属専攻で開講されていない科目とするが、履修は開講先の所属生が優先となるため、科目によって履修条件や人数制限等がある場合や事前登録が必要となる場合などがある。

(注) 平成30年度の該当科目や履修手続き方法の詳細は、年度始めに掲示等で確認すること。

- ・履修年次、単位、授業内容等は、開講先の学部・学科（専攻）の履修要綱を参照のこと。
- ・授業に関する連絡事項や試験等の連絡は、開講先の学部・学科（専攻）の掲示板を確認すること。

(9) 随意科目

卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数に含まれない科目である。科目が指定され、科目によっては履修対象者が限定されることがある。また、履修制限をすることがあるため、掲示等に注意すること。

(10) 再履修について

2年次以降に係わる履修

再履修とは 履修の結果「不合格」「失格」となった科目を再度履修すること。
必修科目は必ず履修しなければならないが、選択科目は別の科目を履修してもよい。

再履修方法 上級年次の学生は、下級年次担当科目より授業科目を履修できる。
各科目の再履修方法の概要は次のとおりである。
※未修得の学生も再履修者と同様の手続きが必要になる場合やクラスを指定する場合があるので、掲示等でよく確認すること。

I 群：外国語必修科目 1クラスの人数に制限があるため、教務課の指示に従うこと。再履修クラスを設定したり、クラスに組み入れる場合には先着順で事前登録を実施する場合がある。

II 群：外国語・教養選択科目 開講科目の中から、不足単位分を修得する。別科目を選択してもよい。

III 群：専攻必修科目 (必修) 再履修者の人数に応じて、再履修クラスを開講する場合がある。特別に指示がない場合には、下級年次生の「時間割」に従って履修する。

Ⅳ群：専門選択科目・Ⅴ群：卒業研究

- ・特別に指示がない場合には、「時間割」に従って履修する。
- ・ゼミナールや卒業研究科目は、事前に選考を受けなければならない。

上記以外の科目 実習科目…再履修は原則認めない。

2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 児童教育専攻）

科目区分		科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	小学校教育コース		幼児教育・保育コース	
								一 小 学 校 種 校	一 幼 稚 園 種 園	一 幼 稚 園 種 園	保 育 士
Ⅰ 群	外国語 必修科目	英語コミュニケーションⅠ	2	1	演習	30	4 単 位	必	必	必	必
		英語コミュニケーションⅡ	2	2	演習	30		必	必	必	必
Ⅱ 群	外国語 ・ 教 養 選 択 科 目	基礎英語A	1	1～	演習	30	16 単 位				
		基礎英語B	1	1～	演習	30					
		ReadingⅠA	1	1～	演習	30					
		ReadingⅠB	1	1～	演習	30					
		ReadingⅡA	1	2～	演習	30					
		ReadingⅡB	1	2～	演習	30					
		WritingⅠA	1	1～	演習	30					
		WritingⅠB	1	1～	演習	30					
		WritingⅡA	1	2～	演習	30					
		WritingⅡB	1	2～	演習	30					
		Vocabulary A	1	1～	演習	30					
		Vocabulary B	1	1～	演習	30					
		ドイツ語ⅠA	2	1～	演習	30					
		ドイツ語ⅠB	2	1～	演習	30					
		ドイツ語ⅡA	1	2～	演習	30					
		ドイツ語ⅡB	1	2～	演習	30					
		ドイツ語ⅢA	1	2～	演習	30					
		ドイツ語ⅢB	1	2～	演習	30					
		ドイツ語ⅣA	1	2～	演習	30					
		ドイツ語ⅣB	1	2～	演習	30					
		フランス語ⅠA	2	1～	演習	30					
		フランス語ⅠB	2	1～	演習	30					
		フランス語ⅡA	1	2～	演習	30					
		フランス語ⅡB	1	2～	演習	30					
		フランス語ⅢA	1	2～	演習	30					
		フランス語ⅢB	1	2～	演習	30					
		フランス語ⅣA	1	2～	演習	30					
		フランス語ⅣB	1	2～	演習	30					
		スペイン語ⅠA	2	1～	演習	30					
		スペイン語ⅠB	2	1～	演習	30					
スペイン語ⅡA	1	2～	演習	30							
スペイン語ⅡB	1	2～	演習	30							
スペイン語ⅢA	1	2～	演習	30							
スペイン語ⅢB	1	2～	演習	30							

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

科目区分	科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	小学校教育コース		幼児教育・保育コース		
							一 小 学 校 種	一 幼 稚 園 種	一 幼 稚 園 種	保 育 士	
Ⅱ 群	外国語・教養選択科目	スペイン語ⅣA	1	2～	演習	30	(16単位)				
		スペイン語ⅣB	1	2～	演習	30					
		中国語ⅠA	2	1～	演習	30					
		中国語ⅠB	2	1～	演習	30					
		中国語ⅡA	1	2～	演習	30					
		中国語ⅡB	1	2～	演習	30					
		中国語ⅢA	1	2～	演習	30					
		中国語ⅢB	1	2～	演習	30					
		中国語ⅣA	1	2～	演習	30					
		中国語ⅣB	1	2～	演習	30					
		韓国語ⅠA	2	1～	演習	30					
		韓国語ⅠB	2	1～	演習	30					
		韓国語ⅡA	1	2～	演習	30					
		韓国語ⅡB	1	2～	演習	30					
		韓国語ⅢA	1	2～	演習	30					
		韓国語ⅢB	1	2～	演習	30					
		韓国語ⅣA	1	2～	演習	30					
		韓国語ⅣB	1	2～	演習	30					
		歴史学A	2	1～	講義	15					
		歴史学B	2	1～	講義	15					
		日本史概論	2	1～	講義	15					
		外国史概論	2	1～	講義	15					
		地理学A	2	1～	講義	15					
		地理学B	2	1～	講義	15					
		地理学概論(地誌を含む)	2	1～	講義	15					
		倫理学A	2	1～	講義	15					
		倫理学B	2	1～	講義	15					
		応用倫理A	2	1～	講義	15					
		応用倫理B	2	1～	講義	15					
		倫理学概論	2	1～	講義	15					
		哲学A	2	1～	講義	15					
		哲学B	2	1～	講義	15					
		哲学概論	2	1～	講義	15					
文学A	2	1～	講義	15							
文学B	2	1～	講義	15							
論理学	4	1～	講義	15							

科目区分	科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	小学校教育コース		幼児教育・保育コース	
							一 小 学 種 校	一 幼 稚 種 園	一 幼 稚 種 園	保 育 士
Ⅱ 群	外国語・教養選択科目	クリティカルシンキングA	2	1～	講義	15				
		クリティカルシンキングB	2	1～	講義	15				
		国語表現法A	2	1～	講義	15				
		国語表現法B	2	1～	講義	15				
		美学A	2	1～	講義	15				
		美学B	2	1～	講義	15				
		比較文化論A	2	1～	講義	15				
		比較文化論B	2	1～	講義	15				
		文化人類学A	2	1～	講義	15				
		文化人類学B	2	1～	講義	15				
		社会学A	2	1～	講義	15				
		社会学B	2	1～	講義	15				
		法学A（国際法を含む）	2	1～	講義	15				
		法学B（国際法を含む）	2	1～	講義	15				
		統計学A	2	1～	講義	15				
		統計学B	2	1～	講義	15				
		心理学A	2	1～	講義	15				
		心理学B	2	1～	講義	15				
		社会心理学A	2	1～	講義	15				
		社会心理学B	2	1～	講義	15				
		政治学A（国際政治を含む）	2	1～	講義	15				
		政治学B（国際政治を含む）	2	1～	講義	15				
		情報社会科学A	2	1～	講義	15				
		情報社会科学B	2	1～	講義	15				
		環境科学A	2	1～	講義	15				
		環境科学B	2	1～	講義	15				
		代数学	2	1～	講義	15				
		解析学	2	1～	講義	15				
		数学概論A	2	1～	講義	15				
		数学概論B	2	1～	講義	15				
		物理学A	2	1～	講義	15				
		物理学B	2	1～	講義	15				
		化学A	2	1～	講義	15				
		化学B	2	1～	講義	15				
生物学A	2	1～	講義	15						
生物学B	2	1～	講義	15						

(16単位)

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ・「<選必>」は、該当コースで該当の免許取得を希望する場合、必修「必」となる。

科目区分	科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	小学校教育コース		幼児教育・保育コース			
							一 小学校	一 幼稚園	一 幼稚園	保育士		
Ⅱ 群	外国語・教養選択科目	科学史A	2	1～	講義	15	16単位					
		科学史B	2	1～	講義	15						
		日本国憲法	2	1～	講義	15		必	必	必	必	
		健康科学	2	1～	講義	15					必	
		体育実技A	1	1～	実技	30		必	必	必	必	
		体育実技B	1	1～	実技	30		必	必	必		
		情報処理	2	1～	演習	15		必	必	必	必	
		マナーの基本	2	1～	講義	15						
		キャリアデザイン	2	1～	講義	15						
		コミュニケーション能力を磨こう	2	1～	講義	15						
		教養特講（講義）	2	1～	講義	15						
教養特講（演習）	1	1～	演習	30								
Ⅲ 群	専攻必修科目	フレッシュマンセミナー	1	1	演習	30	1単位	必	必	必	必	
Ⅳ 群	専門選択科目	教科専門科目	国語概説Ⅰ（書写を含む）	2	1～	講義	15	74単位	選必	選必	選必	
			国語概説Ⅱ（書写を含む）	2	3～	講義	15		選必	選必	選必	
			社会科概説Ⅰ	2	1～	講義	15		選必			
			社会科概説Ⅱ	2	3～	講義	15		選必			
			算数概説Ⅰ	2	1～	講義	15		選必	選必	選必	
			算数概説Ⅱ	2	3～	講義	15		選必	選必	選必	
			理科概説Ⅰ	2	1～	講義	15		選必			
			理科概説Ⅱ	2	3～	講義	15		選必			
			生活科概説Ⅰ	2	1～	講義	15		選必	選必	選必	
			生活科概説Ⅱ	2	3～	講義	15		選必	選必	選必	
			家庭科概説Ⅰ	2	1～	講義	15		選必			
			家庭科概説Ⅱ	2	3～	講義	15		選必			
			音楽概説Ⅰ	2	1～	講義	15		選必	選必	選必	
			音楽概説Ⅱ（声楽）	2	3～	講義	15		選必	選必	選必	
			音楽概説Ⅲ（器楽）	2	3～	講義	15		選必	選必	選必	
			図画工作概説Ⅰ	2	1～	講義	15		選必	選必	選必	
			図画工作概説Ⅱ（立体）	2	3～	講義	15		選必	選必	選必	
			図画工作概説Ⅲ（平面）	2	3～	講義	15		選必	選必	選必	
			体育概説Ⅰ	2	1～	講義	15		選必	選必	選必	
			体育概説Ⅱ	2	3～	講義	15		選必	選必	選必	
ソルフェージュ	2	1～	演習	30	選必	選必	選必	必				
造形	2	1～	演習	30	選必	選必	選必	必				
子どもの運動	1	2～	演習	30	選必	選必	選必	必				

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ・◆…該当資格希望者のみ履修可能

児童教育

科目区分	科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	小学校教育コース		幼児教育・保育コース	
							一 小 学 種 校	一 幼 稚 種 園	一 幼 稚 種 園	保 育 士
IV 群	教職専門科目	教師論	2	2~	講義	15	必	必	必	必
		教育基礎論	2	1~	講義	15	必	必	必	必
		教育心理学	2	1~	講義	15	必	<選必>	/	/
		教育制度論	2	1~	講義	15	必	必	必	
		教育課程論P	2	3~	講義	15	必	必	必	必
		国語科教育法	2	2~	講義	15	◆必	/	/	/
		社会科教育法	2	2~	講義	15	◆必	/	/	/
		算数科教育法	2	2~	講義	15	◆必	/	/	/
		理科教育法	2	2~	講義	15	◆必	/	/	/
		生活科教育法	2	2~	講義	15	◆必	/	/	/
		音楽科教育法	2	2~	講義	15	◆必	/	/	/
		図画工作科教育法	2	2~	講義	15	◆必	/	/	/
		家庭科教育法	2	2~	講義	15	◆必	/	/	/
		体育科教育法	2	2~	講義	15	◆必	/	/	/
		教育法演習A	1	3~	演習	30	◆選	/	/	/
		教育法演習B	1	3~	演習	30	◆選	/	/	/
		教育法演習C	1	3~	演習	30	◆選	/	/	/
		保育内容指導法（健康）	2	3~	講義	15	/	◆必	必	
		保育内容指導法（人間関係）	2	3~	講義	15	/	◆必	必	
		保育内容指導法（環境）	2	3~	講義	15	/	◆必	必	
		保育内容指導法（言葉）	2	3~	講義	15	/	◆必	必	
		保育内容指導法（表現①）	2	3~	講義	15	/	◆必	必	
		保育内容指導法（表現②）	2	3~	講義	15	/	◆必	必	
		保育内容指導法（表現③）	2	3~	講義	15	/	◆必	必	
		道德教育の理論と方法P	2	1~	講義	15	◆必	◆選*1	◆選	/
		特別活動の理論と方法P	2	2~	講義	15	◆必	/	/	/
	教育方法論P	2	1~	講義	15	必	必	必	選必	
	生徒指導論（進路指導を含む）	2	2~	講義	15	◆必	/	/	/	
	教育相談P	2	2~	講義	15	◆必	◆必	◆必	/	
	教科・教職関連科目	児童文学	2	1~	講義	15	選	選	選	
		歌唱表現	2	2~	演習	30	選必	選必	選必	選必
		音楽実技Ⅰ	2	1~	演習	30	選必	選必	選必	選必
		音楽実技Ⅱ	2	2~	演習	30	選必	選必	選必	
音楽実技ⅢA		2	3~	演習	30					
音楽実技ⅢB		2	4	演習	30					
リトミック入門		1	2~	演習	30	選	選	選		

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ・◆…該当資格希望者のみ履修可能
 ・「<選必>」は、該当コースで該当の免許取得を希望する場合、必修「必」となる。
 ・*1…小一種+幼一種希望の場合、必修になるため「◆必」となる。

科目区分	科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	小学校教育コース		幼児教育・保育コース	
							一 小 学 種 校	一 幼 稚 種 園	一 幼 稚 種 園	保 育 士
IV 群 専門 選択 科目	教科・ 教職 関連 科目	リトミック応用	2	3~	演習	30				
		絵画表現	2	2~	演習	30				選必
		造形Ⅱ	1	3~	演習	30	選必	選必	選必	
		造形教材研究	1	1~	演習	30	選必	選必	選必	
		幼児教育論	2	2~	講義	15		選	選	
		比較教育論	2	2~	講義	15	選	選	選	
		人権教育	2	3~	講義	15	選	選	選	選
		特別支援教育概論	2	3~	講義	15	選	選	選	
		小学校英語教育	2	2~	講義	15	◆選	/	/	/
	保育・ 福祉 専門 科目	社会福祉	2	1~	講義	15	/	/	/	必
		社会福祉B	2	1~	講義	15	/	/	/	選必
		相談援助	1	2~	演習	30	/	/	/	◆必
		児童家庭福祉	2	1~	講義	15	/	/	/	必
		児童家庭福祉B	2	1~	講義	15	/	/	/	選必
		保育原理	2	1~	講義	15	/	/	/	必
		保育原理Ⅱ	2	2~	講義	15	/	/	/	選必
		社会的養護	2	2~	講義	15	/	/	/	◆必
		発達心理学	2	2~	講義	15	/	/	<選必>	必
		保育の心理学	1	2~	演習	30	/	/	/	必
		子どもの保健Ⅰ	4	1~	講義	15	/	/	/	必
		子どもの保健Ⅱ	1	2~	演習	30	/	/	/	必
		子どもの食と栄養	2	3~	演習	30	/	/	/	◆必
		家庭支援論	2	3~	講義	15	/	/	/	◆必
		保育内容総論	1	2~	演習	30	/	/	/	必
		保育内容演習（健康）	1	2~	演習	30	/	/	/	必
		保育内容演習（人間関係）	1	2~	演習	30	/	/	/	必
		保育内容演習（環境）	1	2~	演習	30	/	/	/	必
		保育内容演習（言葉）	1	2~	演習	30	/	/	/	必
		保育内容演習（表現）	1	2~	演習	30	/	/	/	必
		乳児保育	2	2~	演習	30	/	/	/	必
		障害児保育	2	3~	演習	30	/	/	/	◆必
		社会的養護内容	1	2~	演習	30	/	/	/	必
		保育実践演習	2	2~	演習	30	/	/	/	◆必
青年心理学	2	1~	講義	15	/	/	/	選必		
臨床心理学	2	2~	講義	15	/	/	/	選必		
比較保育論	2	3~	講義	15	/	/	/			
児童文化	1	2~	演習	30	/	/	/	選		

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ・◆…該当資格希望者のみ履修可能
 ・「<選必>」は、該当コースで該当の免許取得を希望する場合、必修「必」となる。

児童教育

科目区分		科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	小学校教育コース		幼児教育・保育コース				
								一 小 学 種 校	一 幼 稚 種 園	一 幼 稚 種 園	保 育 士			
IV 群	専 門 選 択 科 目	保 育 ・ 福 祉 専 門 科 目	児童学研究法（概説）	2	1～	講義	15					選		
			フィールドワーク	1	1～	演習	30						選必	
			児童学研究法	2	2～	講義	15						選必	
			保育相談支援	1	3～	演習	30						◆必	
			病児病後児保育	2	3～	講義	15						選必	
			地域子育て支援論	2	3～	講義	15						選必	
			言葉表現	1	3～	演習	30						選必	
			遊びと運動	1	3～	演習	30						選必	
			障害者福祉論	4	2～	講義	15							
			福祉施設経営論	2	1～	講義	15							
	課題研究		ゼミナール	4	3～	演習	30							
			造形文化論	2	1～	講義	15							
	専 門 選 択 科 目	学 科 共 通 科 目	おもちゃ論	2	2～	講義	15						選	
			福祉とボランティア	2	1～	講義	15						選	
			レクリエーション理論	2	2～	講義	15							
			レクリエーション実技	1	2～	演習	30							
			レクリエーション実習（◆レ）	1	3～	実習	30							
			野外運動A（キャンプ）	2	1～	演習	30							
			野外運動B（雪上）	2	1～	演習	30							
			救急法	2	1～	講義	15							
			Teaching English to Children	2	2～	講義	15							
			e-ラーニング	1	1～	演習	30							
			教育情報処理	2	1～	演習	30							
			健康教育リテラシー	4	3～	講義	15							
			女性学	2	1～	講義	15							
			TOEIC I	1	1～	演習	30							
			TOEIC II	1	2～	演習	30							
			TOEFL I	1	1～	演習	30							
			TOEFL II	1	2～	演習	30							
			Picture Books	2	1～	講義	15							
			特 講	専門特講（講義）	2	1～	講義	15						
				専門特講（演習）	1	1～	演習	30						
V 群	卒業研究	卒業研究	4	4	演習	30	4単位	必	必	必	必			
自由選択		・ II 群の最低修得単位を超えた単位数 ・ IV 群の最低修得単位を超えた単位数 ・ 他学部・他専攻科目（指定科目）					25 単位							
卒 業 所 要 単 位							124 単位							

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

・◆…該当資格希望者のみ履修可能

・◆レ…レクリエーション・インストラクターの登録者で、教育実習または保育実習を履修していない者のみ履修可能

科目区分	科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	小学校教育コース		幼児教育・保育コース	
							一 小学校 種	一 幼稚園 種	一 幼稚園 種	保 育 士
実習科目 ・ 該当の実習を履修	教育実習の事前事後指導P	1	2~	講義	30	卒業単位に 含まれない (注4)	◆必	◆必	◆必	
	教育実習Ⅰ	4	3~	実習	45		◆必	◆必*2	◆必	
	教育実習Ⅱ	2	3~	実習	45		※	◆選*2	※	
	教育実習Ⅲ	2	3~	実習	45		※	※	※	
	教職実践演習(幼・小)	2	4	演習	15		◆必	◆必	◆必	
	保育実習Ⅰ	4	2~	実習	45					◆必
	保育実習指導Ⅰ	2	2~	演習	30					◆必
	保育実習Ⅱ	2	3~	実習	45					◆選必
	保育実習指導Ⅱ	1	3~	演習	30					◆選必
	保育実習Ⅲ	2	3~	実習	45					◆選必
保育実習指導Ⅲ	1	3~	演習	30				◆選必		
随意科目	海外研修 等					卒業単位に 含まれない				

(注1) 3年次で履修

(注2) 教育実習が修了していないと履修できない。

(注3) 4年次で履修

(注4) 該当の実習の事前事後指導と該当の実習が完了しないと単位は付与されない。

・◆…該当資格希望者のみ履修可能

・*2…小一種+幼一種希望の場合、幼稚園実習は、「教育実習Ⅰ」ではなく、「教育実習Ⅱ」が必修「◆必」となる。

・※…許可された者のみ

3. 児童教育専攻 卒業と免許・資格別所要単位数

卒業所要単位	124		
免許・資格名	小学校一種免	幼稚園一種免	保育士
実習科目(注5)	7	7	9
合計単位	131	131	133

(注5) 希望する免許・資格等の該当実習科目の履修を必要とするが、卒業所要単位には含まれない。

II スポーツ健康専攻

1. スポーツ健康専攻

○教育目的

スポーツ健康専攻では、スポーツ・健康科学と教育学について学ぶことができる。中学校・高等学校の保健体育教諭、新しいスポーツや健康産業の担い手となる人材を育てるため、体育・スポーツ科学の基礎理論をベースに、体育実技、専門機器を用いた測定技術や医学的基礎知識の修得、およびスポーツリハビリテーションやレクリエーションなど、教育現場だけでなく広く社会一般で役立つ知識の習得を目的としている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）、ディプロマ・ポリシー（学位授与に関する方針）については大学ホームページをご覧ください。

— 各科目の履修方法について —

教育学部の授業科目は、卒業に必要なⅠ群～Ⅴ群及び資格取得に必要な実習等科目によって科目区分されている。Ⅰ群～Ⅴ群ごとに卒業に必要な単位数が決められている。

これに従って単位を修得しなければ、卒業要件を満たすことはできない。

〔Ⅰ教育課程－8. 卒業要件〕（参照）

ここでは、卒業科目とその単位や履修年次および卒業するために必要な単位数などを表で示している。どれも基本的かつ重要な事項のため、かならず熟読すること。

Ⅱ
スポーツ

◆スポーツ健康専攻 卒業所要単位

科目群名	卒業所要単位
Ⅰ群 外国語必修科目	4単位
Ⅱ群 外国語・教養選択科目	16単位
Ⅲ群 専攻必修科目	1単位
Ⅳ群 専門選択科目	74単位
Ⅴ群 卒業研究	4単位
自由選択	25単位
合計	124単位
実習科目	(注1)
随意科目	(注2)

(注1) 当該免許に開設された科目の履修を必要とするが卒業所要単位に含まれない。

(注2) 卒業所要単位に含まれない。

(1) I群：外国語必修科目

I群：外国語必修科目……計2科目4単位が必修。

(2) II群：外国語・教養選択科目

II群の外国語・教養科目は全て選択科目となり、16単位以上修得すること。

(3) III群：専攻必修科目

III群：専攻必修科目……………1科目1単位必修。

「フレッシュマンセミナー」は文献資料の収集・整理・分析等の方法を学び、情報技術を体得し、教員や他の学生と討論する科目である。具体的には①大学の学習システムを理解すること。②「学ぶこと」の意味と方法を探ること。③キャンパスライフを豊かに送るために必要な情報を収集すること。④「読む」「書く」「発表する」など基本的能力を身につけることを目的とする。

(4) IV群：専門選択科目

IV群専門選択科目は「教科専門科目」、「教科関連科目」、「教職専門科目」、「学科共通科目」から構成されている。このうち「教職専門科目」は中学・高校の保健体育科教員免許取得に必要な教職の科目を指し、「学科共通科目」は専攻を問わず、教育学部の学生に履修を進める科目が配置されている。以下には「教科専門科目」、「教科関連科目」について、その意味や履修上の注意点などを説明する。

「教科専門科目」は保健体育やスポーツに関わる基礎科目であり、教員免許を取得する上で必須となる教科の基礎実技や基礎理論を含んでいる。また、「教科関連科目」は「専攻専門科目」と「実践研究」から成り、「教科専門科目」で学ぶ基礎的な実技や理論を土台として、更なる「専門性」の積み上げを目指す科目である。

スポーツ健康専攻における「専門性」の学びは、体育・スポーツ科学全般に関する「幅広い知識」の獲得と、その中から選択される特定領域における「深い専門的知識」や「研究的探求」とに集約される。このどちらも大切なことであり、「幅広い知識」を得ることなく、特定領域を選択し「研究的探求」を進めていくだけでは、真の意味で「専門性」を身につけたとはいえない。

IV群の「専攻選択科目」のうち、「教科専門科目」は体育・スポーツ科学の基礎を成す「幅広い知識」を学ぶものであり、「教科関連科目」は「深い専門的知識」、「研究的探求」の向上を目指すものである。両者のバランスを考え、バラエティに富む科目構成でカリキュラムは構成されている。

「教科関連科目」のうち「専攻専門科目」は学生個々人の興味関心に基づき、履修科目を選

択するものである。体育・スポーツ科学の中で「深い専門的知識」の獲得を目指し、自身の専門領域を絞り込むきっかけとしてもらいたい。

また、「実践研究」は、単なる知識（理論）や運動技術の習得にとどまらず、多様な体育、中でも「専門演習」は「実践研究」の中核を占める科目であり、「研究的探求」を促進することをねらいとするものである。「専門演習」の内容は、体育・スポーツ科学を構成する個々の専門領域ごとに設定されており、各専門領域の視点から、具体的な体育・スポーツ現象に切り込み、その分析や考察の方法、つまり「研究的探求」の方法を学ぶことをねらいとしている。3年次に1つの領域を選択し、4年次の「卒業研究」へつなげるという連続性を持つ重要な科目である。同一教員の開講する「専門演習」と「卒業研究」を継続して履修することにより、「深い専門的知識」の獲得を図る。

(5) V群：卒業研究

「卒業研究」はスポーツ健康専攻における4年次必修の科目であり、卒業論文を作成することを主たるねらいとするものである。

3年次の「専門演習」における学びの中から、自身の最も興味関心のある領域を決定し「卒業研究領域」として選択する。4年次の1年間、選択した領域の指導教員の指導を受けながら、自己の問題意識に基づき研究テーマを設定し、卒業論文の作成に取り組んでいく。具体的には、「研究課題の明確化」、「研究目的の設定」、「研究方法の選択」、「論文としてのまとめ方」など一連の研究遂行に関わる知識や方法を学び、その成果を卒業論文にまとめる。「卒業研究」の履修に際しては、その領域の担当教員の「専門演習」を履修していることを原則とする。この他、3年次終了時点での総単位数の条件等は特に定めない。

なお、「卒業研究」は通年で履修することを原則とするが、海外留学等特別の事情が認められた場合に限り、「卒業研究（半期4単位）」を履修することができる。

(6) 自由選択

卒業所要単位にあるように、卒業するためにはI群～V群における科目群に必要な卒業所要単位数を修得しなければならない。各必要単位を合計すると99単位となる。卒業要件単位は124単位のため、残り25単位を自由選択単位として修得しなければならない。この25単位には、①I群～V群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び、②他大学・他学部・他専攻履修（一部の科目）で修得した単位を充てることができる。①②のうち何を選択履修するかは自由であるが、まず所属専攻において何について勉強・研究したいのか、関心を深めたい分野は何であるのかをしっかりと見極めて、与えられた「自由」を十分に生かした4年間の学業プランを練るよう心がけること。

(7) 実習科目

教育職員免許状取得に必要な科目で、課程登録している免許に該当する科目を修得しなければならない。この科目は、卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数には含まれない科目である。

(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目

教育学部は、他大学、他学部・他専攻（一部の科目）等の授業科目の履修で修得した単位については、自由選択科目として25単位を限度として卒業要件単位に認められることがある。

《他大学履修》

ア. 放送大学

単位互換協定に基づき、『特別聴講学生』として放送大学の科目のうち本学指定科目の履修ができる。

放送大学の出願手続きは、前年度内に行われるため既に本学経由で手続きを完了した者のみの履修となる。

イ. 交換留学制度

交換留学先の大学や募集要項については、国際交流室へ問合せてください。

募集要項は掲示しますので、希望者は所定期間内に志願し、手続きをしてください。

《他学部・他専攻履修》

所属専攻で開講されていない科目とするが、履修は開講先の所属生が優先となるため、科目によって履修条件や人数制限等がある場合や事前登録が必要となる場合などがある。

(注) 平成30年度の該当科目や履修手続き方法の詳細は、年度始めに掲示等で確認すること。

- ・履修年次、単位、授業内容等は、開講先の学部・学科（専攻）の履修要綱を参照のこと。
- ・授業に関する連絡事項や試験等の連絡は、開講先の学部・学科（専攻）の掲示板で確認すること。

(9) 随意科目

卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数に含まれない科目である。科目が指定され、科目によっては履修対象者が限定されることがある。また、履修制限をすることがあるため、掲示等に注意すること。

(10) 再履修について

2年次以降に係わる履修

再履修とは 履修の結果「不合格」「失格」となった科目を再度履修すること。必修科目は必ず履修しなければならないが、選択科目は別の科目を履修してもよい。

再履修方法 上級年次の学生は、下級年次配当科目より授業科目を履修できる。各科目の再履修方法の概要は次のとおりである。

※未修得の学生も再履修者と同様の手続きが必要になる場合やクラスを指定する場合があるので、掲示等でよく確認すること。

I 群：外国語必修科目 1クラスの人数に制限があるため、教務課の指示に従うこと。再履修クラスを設定したり、クラスに組み入れる場合には先着順で事前登録を実施する場合がある。

II 群：外国語・教養選択科目 開講科目の中から、不足単位分を修得する。別科目を選択してもよい。

III 群：専攻必修科目 (必修) 再履修者の人数に応じて、再履修クラスを開講する場合がある。特別に指示がない場合には、下級年次生の「時間割」に従って履修する。

IV 群：専門選択科目・V 群：卒業研究

- ・特別に指示がない場合には、「時間割」に従って履修する。
- ・専門演習や卒業研究の科目は、事前に選考を受けなければならない。

上記以外の科目 実習科目…再履修は原則認めない。

2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 スポーツ健康専攻）

科目区分		科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種(保体)	高一種(保体)	中一種高一種(保体)
I群	外国語必修科目	英語コミュニケーションⅠ	2	1	演習	30	4単位	必	必	必
		英語コミュニケーションⅡ	2	2	演習	30		必	必	必
II群	外国語・教養選択科目	基礎英語A	1	1~	演習	30	16単位			
		基礎英語B	1	1~	演習	30				
		ReadingⅠA	1	1~	演習	30				
		ReadingⅠB	1	1~	演習	30				
		ReadingⅡA	1	2~	演習	30				
		ReadingⅡB	1	2~	演習	30				
		WritingⅠA	1	1~	演習	30				
		WritingⅠB	1	1~	演習	30				
		WritingⅡA	1	2~	演習	30				
		WritingⅡB	1	2~	演習	30				
		Vocabulary A	1	1~	演習	30				
		Vocabulary B	1	1~	演習	30				
		ドイツ語ⅠA	2	1~	演習	30				
		ドイツ語ⅠB	2	1~	演習	30				
		ドイツ語ⅡA	1	2~	演習	30				
		ドイツ語ⅡB	1	2~	演習	30				
		ドイツ語ⅢA	1	2~	演習	30				
		ドイツ語ⅢB	1	2~	演習	30				
		ドイツ語ⅣA	1	2~	演習	30				
		ドイツ語ⅣB	1	2~	演習	30				
		フランス語ⅠA	2	1~	演習	30				
		フランス語ⅠB	2	1~	演習	30				
		フランス語ⅡA	1	2~	演習	30				
		フランス語ⅡB	1	2~	演習	30				
		フランス語ⅢA	1	2~	演習	30				
		フランス語ⅢB	1	2~	演習	30				
		フランス語ⅣA	1	2~	演習	30				
		フランス語ⅣB	1	2~	演習	30				
		スペイン語ⅠA	2	1~	演習	30				
		スペイン語ⅠB	2	1~	演習	30				
スペイン語ⅡA	1	2~	演習	30						
スペイン語ⅡB	1	2~	演習	30						
スペイン語ⅢA	1	2~	演習	30						
スペイン語ⅢB	1	2~	演習	30						

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

科目区分	科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種(保体)	高一種(保体)	中一種高一種(保体)	
Ⅱ群	外国語・教養選択科目	スペイン語ⅣA	1	2～	演習	30	(16単位)			
		スペイン語ⅣB	1	2～	演習	30				
		中国語ⅠA	2	1～	演習	30				
		中国語ⅠB	2	1～	演習	30				
		中国語ⅡA	1	2～	演習	30				
		中国語ⅡB	1	2～	演習	30				
		中国語ⅢA	1	2～	演習	30				
		中国語ⅢB	1	2～	演習	30				
		中国語ⅣA	1	2～	演習	30				
		中国語ⅣB	1	2～	演習	30				
		韓国語ⅠA	2	1～	演習	30				
		韓国語ⅠB	2	1～	演習	30				
		韓国語ⅡA	1	2～	演習	30				
		韓国語ⅡB	1	2～	演習	30				
		韓国語ⅢA	1	2～	演習	30				
		韓国語ⅢB	1	2～	演習	30				
		韓国語ⅣA	1	2～	演習	30				
		韓国語ⅣB	1	2～	演習	30				
		歴史学A	2	1～	講義	15				
		歴史学B	2	1～	講義	15				
		日本史概論	2	1～	講義	15				
		外国史概論	2	1～	講義	15				
		地理学A	2	1～	講義	15				
		地理学B	2	1～	講義	15				
		地理学概論(地誌を含む)	2	1～	講義	15				
		倫理学A	2	1～	講義	15				
		倫理学B	2	1～	講義	15				
		応用倫理A	2	1～	講義	15				
		応用倫理B	2	1～	講義	15				
		倫理学概論	2	1～	講義	15				
		哲学A	2	1～	講義	15				
		哲学B	2	1～	講義	15				
		哲学概論	2	1～	講義	15				
		文学A	2	1～	講義	15				
文学B	2	1～	講義	15						
論理学	4	1～	講義	15						

科目区分	科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種 (保体)	高一種 (保体)	中一種 高一種 (保体)	
II スポーツ	外国語・ 教養 選択 科目	クリティカルシンキングA	2	1～	講義	15	(16単位)			
		クリティカルシンキングB	2	1～	講義	15				
		国語表現法A	2	1～	講義	15				
		国語表現法B	2	1～	講義	15				
		美学A	2	1～	講義	15				
		美学B	2	1～	講義	15				
		比較文化論A	2	1～	講義	15				
		比較文化論B	2	1～	講義	15				
		文化人類学A	2	1～	講義	15				
		文化人類学B	2	1～	講義	15				
		社会学A	2	1～	講義	15				
		社会学B	2	1～	講義	15				
		法学A (国際法を含む)	2	1～	講義	15				
		法学B (国際法を含む)	2	1～	講義	15				
		統計学A	2	1～	講義	15				
		統計学B	2	1～	講義	15				
		心理学A	2	1～	講義	15				
		心理学B	2	1～	講義	15				
		社会心理学A	2	1～	講義	15				
		社会心理学B	2	1～	講義	15				
		政治学A (国際政治を含む)	2	1～	講義	15				
		政治学B (国際政治を含む)	2	1～	講義	15				
		情報社会科学A	2	1～	講義	15				
		情報社会科学B	2	1～	講義	15				
		環境科学A	2	1～	講義	15				
		環境科学B	2	1～	講義	15				
		代数学	2	1～	講義	15				
		解析学	2	1～	講義	15				
		数学概論A	2	1～	講義	15				
		数学概論B	2	1～	講義	15				
		物理学A	2	1～	講義	15				
		物理学B	2	1～	講義	15				
		化学A	2	1～	講義	15				
		化学B	2	1～	講義	15				
生物学A	2	1～	講義	15						
生物学B	2	1～	講義	15						

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

科目区分		科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種(保体)	高一種(保体)	中一種高一種(保体)	
II群	外国語・教養選択科目	科学史A	2	1～	講義	15	(16単位)				
		科学史B	2	1～	講義	15					
		日本国憲法	2	1～	講義	15		必	必	必	
		情報処理	2	1～	演習	15		必	必	必	
		マナーの基本	2	1～	講義	15					
		キャリアデザイン	2	1～	講義	15					
		コミュニケーション能力を磨こう	2	1～	講義	15					
		教養特講(講義)	2	1～	講義	15					
		教養特講(演習)	1	1～	演習	30					
III群	専攻必修科目	フレッシュマンセミナー	1	1	演習	30	1単位	必	必	必	
IV群	専門選択科目	基礎実技	体づくり運動	1	2～	演習	30	74単位	必	必	必
			器械運動	1	1～	演習	30		必	必	必
			陸上運動	1	1～	演習	30		必	必	必
			水泳	1	1～	演習	30		必	必	必
			ダンス	1	1～	演習	30		必	必	必
			柔道	1	2～	演習	30		選必	選必	選必
			剣道	1	2～	演習	30		選必	選必	選必
			野球(ソフトボール)	1	2～	演習	30		必	必	必
			テニス	1	1～	演習	30		選必	選必	選必
			バレーボール	1	2～	演習	30		選必	選必	選必
			バスケットボール	1	1～	演習	30		選必	選必	選必
			ラグビー	1	2～	演習	30		選必	選必	選必
			サッカー	1	1～	演習	30		選必	選必	選必
			身体運動演習(器械運動)	1	1～	演習	30		選必	選必	選必
		身体運動演習(陸上運動)	1	1～	演習	30	選必		選必	選必	
		身体運動演習(表現運動)	1	1～	演習	30	選必		選必	選必	
		基礎理論	体育原理	2	1～	講義	15		選必	選必	選必
			体育心理学	2	2～	講義	15		選必	選必	選必
			体育・スポーツ経営学	2	2～	講義	15		選必	選必	選必
			スポーツ社会学	2	2～	講義	15		選必	選必	選必
			運動学Ⅰ(運動方法を含む)	2	1～	講義	15		必	必	必
			運動学Ⅱ	2	1～	講義	15		選必	選必	選必
			スポーツコーチング総論	2	2～	講義	15		選必	選必	選必
生理学	2		1～	講義	15	必	必	必			
運動生理学	2		2～	講義	15	必	必	必			
衛生・公衆衛生学	2	1～	講義	15	必	必	必				

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

II
スポーツ

科目区分		科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種(保体)	高一種(保体)	中高一種(保体)			
IV 群	教科専門科目	基礎理論	学校保健Ⅰ(小児保健を含む)	2	1~	講義	15	(74単位)	必	必	必		
		学校保健Ⅱ(学校安全及び救急処置を含む)	2	1~	講義	15	必		必	必			
		精神保健学	2	1~	講義	15	必		必	必			
	専門選択科目	専攻専門	スポーツ科学入門	2	1~	講義	15						
			解剖学(基礎)	2	1~	講義	15						
			競技スポーツ理論	2	1~	講義	15						
			発育発達学	2	2~	講義	15						
			トレーニング論Ⅰ	2	2~	講義	15						
			トレーニング論Ⅱ	2	3~	講義	15						
			スポーツ指導者論Ⅰ	2	2~	講義	15						
			スポーツ指導者論Ⅱ	2	3~	講義	15						
			スポーツ生理学	2	2~	講義	15			選	選	選	
			スポーツ医学概論	2	2~	講義	15						
			スポーツ産業論	2	3~	講義	15						
			スポーツ行政論	2	2~	講義	15						
			スポーツマーケティング	2	3~	講義	15						
			健康・スポーツの測定と評価	2	3~	講義	15						
			スポーツリハビリテーション論(テーピングを含む)	2	3~	講義	15						
			障害者スポーツ	2	3~	講義	15						
			運動と健康(運動処方論)	2	3~	講義	15						
			スポーツ栄養学	2	3~	講義	15						
			スポーツ指導のバイオメカニクス	2	3~	講義	15						
			トレーニング実習Ⅰ	1	2~	演習	30						
			トレーニング実習Ⅱ	1	3~	演習	30						
			ニュースポーツ	1	3~	演習	30						
			野外運動C(アドバンス)	1	2~	演習	30						
			スポーツ情報科学(入門)	2	2~	講義	15						
			スポーツ情報科学(分析)	2	2~	演習	15						
			実践研究	体育・スポーツ実践事例研究	2	2~	講義		15				
				スポーツ科学実験演習	1	2~	演習		30				
	スポーツインターンシップⅠ	1		2~	演習	30							
	スポーツインターンシップⅡ	1		2~	演習	30							
	専門演習A1	1		3~	演習	30							
専門演習A2	1	3~		演習	30								
専門演習B1	1	3~		演習	30								
専門演習B2	1	3~	演習	30									

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ・◆…該当資格希望者のみ履修可能

II
スポーツ

科目区分		科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種(保体)	高一種(保体)	中高一種(保体)	
IV群	専門 選 択 科 目	教 職 専 門 科 目	教師論	2	2～	講義	15	(74単位)	必	必	必
			教育基礎論	2	1～	講義	15		◆必	◆必	◆必
			教育心理学	2	1～	講義	15		◆必	◆必	◆必
			教育制度論	2	1～	講義	15		必	必	必
			教育課程論S	2	3～	講義	15		必	必	必
			保健体育科教育法Ⅰ	2	2～	講義	15		必	必	必
			保健体育科教育法Ⅱ	2	2～	講義	15		必	必	必
			保健体育科教育法Ⅲ(保健)	2	3～	講義	15		必	必	必
			保健体育科教育法Ⅳ	2	3～	講義	15		必	必	必
			道德教育の理論と方法S	2	1～	講義	15		◆必	◆選	◆必
			特別活動の理論と方法S	2	2～	講義	15		◆必	◆必	◆必
			教育方法論S	2	1～	講義	15		◆必	◆必	◆必
			生徒指導論(進路指導を含む)	2	2～	講義	15		◆必	◆必	◆必
			教育相談S	2	2～	講義	15		◆必	◆必	◆必
	比較教育論	2	2～	講義	15	選	選		選		
	人権教育	2	3～	講義	15	選	選		選		
	学 科 共 通 科 目	造形文化論	2	1～	講義	15					
		おもちゃ論	2	2～	講義	15					
		福祉とボランティア	2	1～	講義	15					
		レクリエーション理論	2	2～	講義	15					
		レクリエーション実技	1	2～	演習	30					
		レクリエーション実習	1	3～	実習	30					
		野外運動A(キャンプ)	2	1～	演習	30					
		野外運動B(雪上)	2	1～	演習	30					
		救急法	2	1～	講義	15					
		Teaching English to Children	2	2～	講義	15					
		e-ラーニング	1	1～	演習	15					
		教育情報処理	2	1～	演習	15					
		健康教育リテラシー	4	3～	講義	15					
		女性学	2	1～	講義	15					
		TOEICⅠ	1	1～	演習	30					
		TOEICⅡ	1	2～	演習	30					
		TOEFLⅠ	1	1～	演習	30					
TOEFLⅡ		1	2～	演習	30						
Picture Books	2	1～	講義	15							
特 講	専門特講(講義)	2	1～	講義	15						
	専門特講(演習)	1	1～	演習	30						
V群	卒業研究	卒業研究	4	4	演習	30	4単位	必	必	必	

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ・◆…該当資格希望者のみ履修可能

II
スポーツ

科目区分	科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種(保体)	高一種(保体)	中一種高一種(保体)
自由選択	・Ⅱ群の最低修得単位を超えた単位数 ・Ⅳ群の最低修得単位を超えた単位数 ・他学部・他専攻科目(指定科目)					25単位			
卒業所要単位						124単位			

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

・◆…該当資格希望者のみ履修可能

・◆レ…レクリエーション・インストラクターの登録者で、教育実習を履修していない者のみ履修可能

科目区分	科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種(保体)	高一種(保体)	中一種高一種(保体)
実習科目 ・該当の実習を履修	教育実習の事前事後指導S	1	3~	講義	30	卒業単位に含めない (注1)	◆必	◆必	◆必
	教育実習Ⅰ	4	3~	実習	45		◆必		◆必
	教育実習Ⅱ	2	3~	実習	45			◆必	
	教育実習Ⅲ	2	3~	実習	45		※許可された者のみ		
	教職実践演習(中・高)	2	4	演習	15		◆必	◆必	◆必

(注1) 教育実習の事前事後指導と該当の実習が完了しないと単位は付与されない。

(注2) 教育実習を修了していないと履修できない。

・◆…該当資格希望者のみ履修可能

3. スポーツ健康専攻 卒業・免許別所要単位数

卒業所要単位	124		
免許名	中一種免 (保健体育)	高一種免 (保健体育)	中一種免・高一種免 (保健体育)
実習科目(注3)	7	5	7
合計単位	131	129	131

(注3) 希望する免許に開設された実習科目の履修を必要とするが、卒業所要単位には含まれない。

III 英語教育專攻

1. 英語教育専攻

○教育目的

グローバル化が進む今日の社会において、国際的な視野を持つ人材、そして英語を始めとして外国語能力の高い人材がますます求められている。英語教育専攻においては、小学校、中学校、高等学校の英語教育に関わる教員として優れた人材、および、国際的な視野と高い英語能力を生かして実社会において活躍できるような人材の育成を目指す。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）、ディプロマ・ポリシー（学位授与に関する方針）については大学ホームページをご覧ください。

— 各科目の履修方法について —

教育学部の授業科目は、卒業に必要なⅠ群～Ⅴ群及び資格取得に必要な実習等科目によって科目区分されている。

Ⅰ群～Ⅴ群ごとに卒業に必要な単位数が決められている。これに従って単位を修得しなければ、卒業要件を満たすことはできない。「Ⅰ教育課程－8. 卒業要件」（参照）ここでは、卒業科目とその単位や履修年次および卒業するために必要な単位数などを表で示している。どれも基本的かつ重要な事項のため、かならず熟読すること。

◆英語教育専攻 卒業所要単位

科目区分	卒業所要最低単位
Ⅰ群 外国語必修科目	4単位
Ⅱ群 外国語・教養選択科目	16単位
Ⅲ群 専攻必修科目	1単位
Ⅳ群 専門選択科目	74単位
Ⅴ群 卒業研究	4単位
自由選択	25単位
合計	124単位
実習科目	(注1)
随意科目	(注2)

(注1) 当該免許に開設された科目の履修を必要とするが卒業所要単位に含まれない。

(注2) 卒業所要単位に含まれない。

(1) I 群：外国語必修科目

I 群：外国語必修科目……計2科目4単位が必修。

(2) II 群：外国語・教養選択科目

II 群の外国語・教養科目は全て選択科目となり、16単位以上修得すること。

(3) III 群：専攻必修科目

III 群：専攻必修科目……………1科目1単位必修。

「フレッシュマンセミナー」は文献資料の収集・整理・分析等の方法を学び、情報技術を体得し、教員や他の学生と討論したり準備が必要となる科目である。①大学の学習システムを理解すること。②「学ぶこと」の意味と方法を探ること。③キャンパスライフを豊かに送るために必要な情報を収集すること。④「読む」「書く」「発表する」など基本的能力を身につけることを目的とする。

(4) IV 群：専門選択科目

3年次配当科目では、教員になる上で求められる教養や作文力を鍛える場として、「課題研究」（通年4単位）が選択科目として設けられている。本専攻においては、「課題研究」は「卒業研究」の前提科目ではないが、履修した課題研究の担当教員のもとで「卒業研究」を行う場合は、卒業論文を作成することができる。

「海外留学」の単位認定について

英語圏の大学（コミュニティカレッジを含む）のESLコース等に留学して単位を取得した場合は、総授業時間に応じて「海外留学」として32単位を上限とする単位を認定する。この場合の成績評価はNとし、単位認定は留学先が発行した未開封の成績証明書・授業日程・回数・時間数等が明記された資料を提出の上、本専攻の演習科目の認定基準に基づいて行う。

また、留学先で取得した単位のうち、本学と同様の内容の未履修科目がある場合には、学生の申請により、本学の履修規程に定める科目区分（講義または演習）に従って、本学の単位に振り替えることができる（「海外留学」と同様に、成績資料等の提出が必要。成績評価はN）。ただし、留学先で得たいかなる単位も、教員免許の取得に関わる科目（詳細は「免許および資格取得の手引き」を参照）への振り替えは行わないので注意すること。

(5) V群：卒業研究

英語専攻においては、「卒業研究」（通年4単位）が4年次の必修科目として配当されている。本科目においては、3年次までに培った英語での情報取得能力や英語への学的関心に応じて、担当教員の指導のもと研究ノート、研究プロジェクト、または卒業論文を作成する。研究ノートは文献のまとめを主としたものを指す。研究プロジェクトの内容としては、新たな教材や指導法の開発、ディベートや教育ボランティアの活動報告など、多岐の学的活動が含まれる。どのような研究プロジェクトの指導が受けられるかは担当教員によって異なるので、必ず事前に相談すること。なお英語での執筆を希望する人は、「アカデミック・ライティング」を履修していることが前提条件となる。ある一定以上のTOEFLのスコアが必要になることもあるので、担当教員に問い合わせること。

卒業論文と、研究ノート、研究プロジェクトの単位数は変わらないが、長さや内容に違いがある研究ノートと研究プロジェクトの場合は「B」が標準の評価となる。

なお、「卒業研究」は通年で履修することを原則とするが、海外留学等特別の事情が認められた場合に限って、「卒業研究（半期4単位）」を履修することができる。

(6) 自由選択

- ・卒業所要単位にあるように、卒業するためにはⅠ群～Ⅴ群における科目群に必要な卒業所要単位数を修得しなければならない。各必要単位を合計すると99単位となる。卒業要件単位は124単位のため、残り25単位を自由選択単位として修得しなければならない。この25単位には、①Ⅰ群～Ⅴ群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び、②他大学・他学部・他専攻履修で修得した単位を充てることができる。
- ・①②のうち何を選択履修するかは自由であるが、まず所属専攻において何について勉強・研究したいのか、関心を深めたい分野は何であるのかをしっかりと見極めて、与えられた「自由」を十分に生かした4年間の学業プランを練るよう心がけること。

(7) 実習科目

教育職員免許状取得に必要な科目で、課程登録している免許に該当する科目を修得しなければならない。この科目は、卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数には含まれない科目である。

(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目

教育学部は、他大学、他学部・他専攻（一部の科目）等の授業科目の履修で修得した単位については、自由選択単位として25単位を限度として卒業要件単位に認められることがある。

《他大学履修》

ア. 放送大学

単位互換協定に基づき、『特別聴講学生』として放送大学の科目のうち本学指定科目の履修ができる。

放送大学の出願手続きは、前年度内に行われるため既に本学経由で手続きを完了した者のみの履修となる。

イ. 交換留学制度

交換留学先の大学や募集要項については、国際交流室へ問合せてください。

募集要項は掲示しますので、希望者は所定期間内に志願し、手続きをしてください。

《他学部・他専攻履修》

所属専攻で開講されていない科目とするが、履修は開講先の所属生が優先となるため、科目によって履修条件や人数制限等がある場合や事前登録が必要となる場合などがある。

(注) 平成30年度の該当科目や履修手続き方法の詳細は、年度始めに掲示等で確認すること。

- ・履修年次、単位、授業内容等は、開講先の学部・学科（専攻）の履修要綱を参照のこと。
- ・授業に関する連絡事項や試験等の連絡は、開講先の学部・学科（専攻）の掲示板で確認すること。

(9) 随意科目

卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数に含まれない科目である。

科目が指定され、科目によっては履修対象者が限定されることがある。また、履修制限をすることがあるため、掲示等に注意すること。

(10) 再履修について

2年次以降に係わる履修

再履修とは 履修の結果「不合格」「失格」となった科目を再度履修すること。
必修科目は必ず履修しなければならないが、選択科目は別の科目を履修してもよい。

再履修方法 上級年次の学生は、下級年次配当科目より授業科目を履修できる。
各科目の再履修方法の概要は次のとおりである。
※未修得の学生も再履修者と同様の手続きが必要になる場合やクラスを指定する
場合があるので、掲示等でよく確認すること。

I 群：外国語必修科目 1クラスの人数に制限があるため、教務課の指示に従うこと。再履修クラスを設定したり、クラスに組み入れる場合には先着順で事前登録を実施する場合がある。

II 群：外国語・教養選択科目 開講科目の中から、不足単位分を修得する。別科目を選択してもよい。

III 群：専攻必修科目 (必修) 再履修者の人数に応じて、再履修クラスを開講する場合がある。特別に指示がない場合には、下級年次生の「時間割」に従って履修する。

IV 群：専門選択科目・V 群：卒業研究

- ・特別に指示がない場合には、「時間割」に従って履修する。
- ・課題研究や卒業研究の科目は、事前に選考を受けなければならない。

上記以外の科目 実習科目…再履修は原則認めない。

2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 英語教育専攻）

科目区分		科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種(英語)	高一種(英語)	中一種高一種(英語)
I群	外国語必修科目	English Study Skills	2	1	演習	30	4単位	必	必	必
		Communication Skills	2	1	演習	30		必	必	必
II群	外国語・教養選択科目	基礎英語A	1	1~	演習	30	16単位			
		基礎英語B	1	1~	演習	30				
		Reading I A	1	1~	演習	30				
		Reading I B	1	1~	演習	30				
		Reading II A	1	2~	演習	30				
		Reading II B	1	2~	演習	30				
		Writing I A	1	1~	演習	30				
		Writing I B	1	1~	演習	30				
		Writing II A	1	2~	演習	30				
		Writing II B	1	2~	演習	30				
		Vocabulary A	1	1~	演習	30				
		Vocabulary B	1	1~	演習	30				
		ドイツ語 I A	2	1~	演習	30				
		ドイツ語 I B	2	1~	演習	30				
		ドイツ語 II A	1	2~	演習	30				
		ドイツ語 II B	1	2~	演習	30				
		ドイツ語 III A	1	2~	演習	30				
		ドイツ語 III B	1	2~	演習	30				
		ドイツ語 IV A	1	2~	演習	30				
		ドイツ語 IV B	1	2~	演習	30				
		フランス語 I A	2	1~	演習	30				
		フランス語 I B	2	1~	演習	30				
		フランス語 II A	1	2~	演習	30				
		フランス語 II B	1	2~	演習	30				
		フランス語 III A	1	2~	演習	30				
		フランス語 III B	1	2~	演習	30				
		フランス語 IV A	1	2~	演習	30				
		フランス語 IV B	1	2~	演習	30				
スペイン語 I A	2	1~	演習	30						
スペイン語 I B	2	1~	演習	30						
スペイン語 II A	1	2~	演習	30						
スペイン語 II B	1	2~	演習	30						
スペイン語 III A	1	2~	演習	30						
スペイン語 III B	1	2~	演習	30						

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

科目区分	科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種(英語)	高一種(英語)	中一種(英語)	
Ⅱ群	外国語・教養選択科目	スペイン語ⅣA	1	2～	演習	30	(16単位)			
		スペイン語ⅣB	1	2～	演習	30				
		中国語ⅠA	2	1～	演習	30				
		中国語ⅠB	2	1～	演習	30				
		中国語ⅡA	1	2～	演習	30				
		中国語ⅡB	1	2～	演習	30				
		中国語ⅢA	1	2～	演習	30				
		中国語ⅢB	1	2～	演習	30				
		中国語ⅣA	1	2～	演習	30				
		中国語ⅣB	1	2～	演習	30				
		韓国語ⅠA	2	1～	演習	30				
		韓国語ⅠB	2	1～	演習	30				
		韓国語ⅡA	1	2～	演習	30				
		韓国語ⅡB	1	2～	演習	30				
		韓国語ⅢA	1	2～	演習	30				
		韓国語ⅢB	1	2～	演習	30				
		韓国語ⅣA	1	2～	演習	30				
		韓国語ⅣB	1	2～	演習	30				
		歴史学A	2	1～	講義	15				
		歴史学B	2	1～	講義	15				
		日本史概論	2	1～	講義	15				
		外国史概論	2	1～	講義	15				
		地理学A	2	1～	講義	15				
		地理学B	2	1～	講義	15				
		地理学概論(地誌を含む)	2	1～	講義	15				
		倫理学A	2	1～	講義	15				
		倫理学B	2	1～	講義	15				
		応用倫理A	2	1～	講義	15				
		応用倫理B	2	1～	講義	15				
		倫理学概論	2	1～	講義	15				
		哲学A	2	1～	講義	15				
		哲学B	2	1～	講義	15				
		哲学概論	2	1～	講義	15				
文学A	2	1～	講義	15						
文学B	2	1～	講義	15						
論理学	4	1～	講義	15						

科目区分	科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種(英語)	高一種(英語)	中一種高一種(英語)	
Ⅱ 群	外国語・教養選択科目	クリティカルシンキングA	2	1～	講義	15	(16単位)			
		クリティカルシンキングB	2	1～	講義	15				
		国語表現法A	2	1～	講義	15				
		国語表現法B	2	1～	講義	15				
		美学A	2	1～	講義	15				
		美学B	2	1～	講義	15				
		比較文化論A	2	1～	講義	15				
		比較文化論B	2	1～	講義	15				
		文化人類学A	2	1～	講義	15				
		文化人類学B	2	1～	講義	15				
		社会学A	2	1～	講義	15				
		社会学B	2	1～	講義	15				
		法学A(国際法を含む)	2	1～	講義	15				
		法学B(国際法を含む)	2	1～	講義	15				
		統計学A	2	1～	講義	15				
		統計学B	2	1～	講義	15				
		心理学A	2	1～	講義	15				
		心理学B	2	1～	講義	15				
		社会心理学A	2	1～	講義	15				
		社会心理学B	2	1～	講義	15				
		政治学A(国際政治を含む)	2	1～	講義	15				
		政治学B(国際政治を含む)	2	1～	講義	15				
		情報社会科学A	2	1～	講義	15				
		情報社会科学B	2	1～	講義	15				
		環境科学A	2	1～	講義	15				
		環境科学B	2	1～	講義	15				
		代数学	2	1～	講義	15				
		解析学	2	1～	講義	15				
		数学概論A	2	1～	講義	15				
		数学概論B	2	1～	講義	15				
		物理学A	2	1～	講義	15				
		物理学B	2	1～	講義	15				
		化学A	2	1～	講義	15				
		化学B	2	1～	講義	15				
生物学A	2	1～	講義	15						

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

科目区分		科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種(英語)	高一種(英語)	中一種高一種(英語)	
II 群	外国語・教養選択科目	生物学B	2	1～	講義	15	16単位				
		科学史A	2	1～	講義	15					
		科学史B	2	1～	講義	15					
		日本国憲法	2	1～	講義	15		必	必	必	
		健康科学	2	1～	講義	15					
		体育実技A	1	1～	実技	30		必	必	必	
		体育実技B	1	1～	実技	30		必	必	必	
		情報処理	2	1～	演習	15		必	必	必	
		マナーの基本	2	1～	講義	15					
		キャリアデザイン	2	1～	講義	15					
		コミュニケーション能力を磨こう	2	1～	講義	15					
		教養特講(講義)	2	1～	講義	15					
		教養特講(演習)	2	1～	演習	30					
III 群	専攻必修科目	フレッシュマンセミナー	1	1	演習	30	1単位	必	必	必	
IV 群	専門選択科目	教科専門科目	Speaking & Listening A	2	2～	演習	15	74単位	選	選	選
			Speaking & Listening B	2	2～	演習	15		選	選	選
			Speaking & Listening C	2	3～	演習	15				
			Reading & Vocabulary A	2	1～	演習	15		選	選	選
			Reading & Vocabulary B	2	2～	演習	15		選	選	選
			Reading & Vocabulary C	2	2～	演習	15				
			Basic Writing	2	1～	演習	15		選	選	選
			Intermediate Writing	2	1～	演習	15		選	選	選
			Advanced Writing	2	2～	演習	15				
			Academic Writing	2	3～	演習	15				
			英文法A	2	1～	演習	15		選	選	選
			英文法B	2	2～	講義	15		選	選	選
			英文法C	2	2～	講義	15				
			英語学概論	2	1～	講義	15		必	必	必
			発音トレーニング	2	1～	演習	15		選	選	選
			音声学	2	1～	講義	15		選	選	選
			英文学概論	2	1～	講義	15		必	必	必
			米文学概論	2	1～	講義	15		必	必	必
			英米文学Ⅰ	2	2～	演習	15		選	選	選
			英米文学Ⅱ	2	2～	演習	15		選	選	選
英米文学Ⅲ	2	3～	演習	15							
英米文学特講	2	3～	演習	15	選	選	選				

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ・◆…該当資格希望者のみ履修可能

科目区分		科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種(英語)	高一種(英語)	中高一種(英語)
IV 群	専門選択科目	異文化理解	2	1~	講義	15	(74単位)	必	必	必
		異文化間コミュニケーション論	2	2~	講義	15		必	必	必
		英語圏地域研究	2	2~	講義	15				
		Remedial English	2	1~	演習	15				
		Discussion & Debate	2	3~	講義	15				
		Academic Lecture	2	2~	講義	15				
		Computing Essentials	2	1~	講義	15				
		Media Project A	2	2~	講義	15				
		Media Project B	2	2~	講義	15				
		Social Networking	2	2~	講義	15				
		英語教育評価論	2	3~	講義	15		選	選	選
		英語教授法特論A	2	3~	講義	15		選	選	選
		英語教授法特論B	2	3~	講義	15		選	選	選
		第二言語習得論	2	2~	講義	15		選	選	選
	教師論	2	2~	講義	15	必		必	必	
	教育基礎論	2	1~	講義	15	◆必		◆必	◆必	
	教育心理学	2	1~	講義	15	◆必		◆必	◆必	
	教育制度論	2	1~	講義	15	必		必	必	
	教育課程論S	2	3~	講義	15	必		必	必	
	英語科教育法Ⅰ	2	1~	講義	15	必		必	必	
	英語科教育法Ⅱ	2	2~	講義	15	必		必	必	
	英語科教育法Ⅲ	2	2~	講義	15	必		必	必	
	英語科教育法Ⅳ	2	2~	講義	15	必		必	必	
	道德教育の理論と方法S	2	1~	講義	15	◆必		◆選	◆必	
	特別活動の理論と方法S	2	2~	講義	15	◆必		◆必	◆必	
	教育方法論S	2	1~	講義	15	◆必		◆必	◆必	
	生徒指導論(進路指導を含む)	2	2~	講義	15	◆必		◆必	◆必	
	教育相談S	2	2~	講義	15	◆必		◆必	◆必	
	比較教育論	2	2~	講義	15	選		選	選	
	人権教育	2	3~	講義	15	選		選	選	
	英語教育関連科目	英語科教材論	2	2~	講義	15		選	選	選
		小学校英語教育	2	2~	講義	15				
		英語コミュニケーション教育特講	2	1~	講義	15				
英語で話す日本文化		2	2~	講義	15					
課題研究		4	3~	演習	30					

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ・◆…該当資格希望者のみ履修可能

科目区分		科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種(英語)	高一種(英語)	中一種(英語)	
IV群	留學海外	海外留学	1~32	1~	講義	15	(単位認定)				
					演習	30	(単位認定)				
	関連科目 ビジネス英語	国際ビジネス英語Ⅰ	2	1~	講義	15	(74単位)				
		国際ビジネス英語Ⅱ	2	1~	講義	15					
		時事英語Ⅰ	2	1~	講義	15					
		時事英語Ⅱ	2	1~	講義	15					
		ビジネス実務	2	1~	講義	15					
		貿易商務論Ⅰ	2	1~	講義	15					
		貿易商務論Ⅱ	2	1~	講義	15					
	専門選択科目 学科共通科目	造形文化論	2	1~	講義	15					
		おもちゃ論	2	2~	講義	15					
		福祉とボランティア	2	1~	講義	15					
		レクリエーション理論	2	2~	講義	15					
		レクリエーション実技	1	2~	演習	30					
		レクリエーション実習	1	3~	実習	30					
		野外運動A(キャンプ)	2	1~	演習	30					
		野外運動B(雪上)	2	1~	演習	30					
		救急法	2	1~	講義	15					
		Teaching English to Children	2	2~	講義	15					
		e-ラーニング	1	1~	演習	30					
		教育情報処理	2	1~	演習	15					
		健康教育リテラシー	4	3~	講義	15					
		女性学	2	1~	講義	15					
		TOEICⅠ	1	1~	演習	30					
		TOEICⅡ	1	2~	演習	30					
		TOEFLⅠ	1	1~	演習	30					
		TOEFLⅡ	1	2~	演習	30					
		Picture Books	2	1~	講義	15					
		特講	専門特講(講義)	2	1~	講義		15			
	専門特講(演習)		1	1~	演習	30					
V群	卒業研究	卒業研究	4	4	演習	30		4単位	必	必	必
	自由選択	・Ⅱ群の最低修得単位を超えた単位数 ・Ⅳ群の最低修得単位を超えた単位数 ・他学部・他専攻科目(指定科目)						25単位			
卒業所要単位							124単位				

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

・◆…該当資格希望者のみ履修可能

・◆レ…レクリエーション・インストラクターの登録者で、教育実習を履修していない者のみ履修可能

科目区分	科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種 (英語)	高一種 (英語)	中一種 高一種 (英語)
実習科目	教育実習の事前事後指導S	1	3～	講義	30	卒業単位に含めない (注1)	◆必	◆必	◆必
	教育実習Ⅰ	4	3～	実習	45		◆必		◆必
	教育実習Ⅱ	2	3～	実習	45			◆必	
	教育実習Ⅲ	2	3～	実習	45		※許可された者のみ		
	教職実践演習(中・高)	2	4	演習	15		◆必	◆必	◆必

(注1) 教育実習の事前事後指導と該当の実習が完了しないと単位は付与されない

(注2) 教育実習を修了していないと履修できない。

◆…該当資格希望者のみ履修可能

3. 英語教育専攻 卒業・免許別所要単位数

卒業所要単位	124		
免許名	中一種免 (英語)	高一種免 (英語)	中一種免・高一種免 (英語)
実習科目(注3)	7	5	7
合計単位	131	129	131

(注3) 希望する免許に開設された実習科目の履修を必要とするが、卒業所要単位には含まれない。

IV 心理学専攻

1. 心理学専攻

○教育目的

本専攻の目的は、心理学の基本的な知識と研究法を学修すると同時に、科学的研究にふさわしい態度や思考能力、倫理観を養うことのできる教育を行うことにある。さらに、より専門的な心理学研究や実践につながりうる基礎を身につけ、自己に対する洞察と他者に対して共感することができる人間として、広範な職業領域および地域社会において、心理学の専門性を活かした貢献のできる人材を育成することを目指す。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）、ディプロマ・ポリシー（学位授与に関する方針）については大学ホームページをご覧ください。

— 各科目の履修方法について —

教育学部の授業科目は、卒業に必要なⅠ群～Ⅴ群及び資格取得に必要な実習等科目によって科目区分されている。Ⅰ群～Ⅴ群ごとに卒業に必要な単位数が決められている。

これに従って単位を修得しなければ、卒業要件を満たすことはできない。

「Ⅰ教育課程－8. 卒業要件」(参照)

ここでは、卒業科目とその単位や履修年次および卒業するために必要な単位数などを表で示している。どれも基本的かつ重要な事項のため、かならず熟読すること。

◆心理学専攻 卒業所要単位

科目群名	卒業所要単位
Ⅰ群 外国語必修科目	4単位
Ⅱ群 外国語・教養選択科目	16単位
Ⅲ群 専攻必修科目	1単位
Ⅳ群 専門選択科目	74単位
Ⅴ群 卒業研究	4単位
自由選択	25単位
合計	124単位
実習科目	(注1)
随意科目	(注2)

(注1) 当該免許に開設された科目の履修を必要とするが卒業所要単位に含まれない。

(注2) 卒業所要単位に含まれない。

(1) I群：外国語必修科目

I群：外国語必修科目……計2科目4単位が必修。

(2) II群：外国語・教養選択科目

II群の外国語・教養科目は全て選択科目となり、16単位以上修得すること。

(3) III群：専攻必修科目

III群：専攻必修科目……………1科目1単位必修。

「フレッシュマンセミナー」は資料の収集・整理・分析等の方法を学び、情報技術を体得し、教員や他の学生と討論を重ねていくため、十分な予習復習と積極性が必要となる科目である。①大学の学修システムを理解すること。②「学ぶこと」の意味と方法を探ること。③キャンパスライフを豊かに送るために必要な情報を収集すること。④「読む」「書く」「発表する」など基本的能力を身につけることを目的とする。

(4) IV群：専門選択科目

・専門選択科目は、専攻専門科目、教科専門科目、教職専門科目、学科共通科目から成っている。これらの中から選択し、74単位以上履修すること。

・「心理学特別研究 A」「心理学特別研究 B」について

これらは選択科目であるが、3年次で少なくともいずれかを履修する必要がある。

本研究は、ゼミ形式による集団指導の形式によって行われる。指導教員との密接な人間関係を経験し、それぞれの教員の主たる研究分野の内容について指導を受け、仲間とともに研究を行うことは、後の卒業研究の際にも、卒業後の進路決定の際にもきわめて重要な経験となるであろう。

(5) V群：卒業研究

・「卒業研究」は、必修科目である。それぞれの教員の専門分野によって、卒業研究の名に値するテーマを各自で決めて、担当教員の指導の下、卒業論文を作成することが、同研究の中心課題となるが、他にも指導教員ごとに研究指導が行われる。評価は、卒業論文の内容について行うものとする。

なお、「卒業研究」は通年で履修することを原則とするが、海外留学等特別の事情が認められた場合に限って、「卒業研究（半期4単位）」を履修することができる。

(6) 自由選択

卒業所要単位にあるように、卒業するためにはⅠ群～Ⅴ群における科目群に必要な卒業所要単位数を修得しなければならない。各必要単位を合計すると99単位となる。卒業要件単位は124単位のため、残り25単位を自由選択単位として修得しなければならない。

この25単位には、①Ⅰ群～Ⅴ群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び、②他大学・他学部・他専攻履修（一部の科目）で修得した単位を充てることができる。

①②のうち何を選択履修するかは自由であるが、まず所属専攻において何について勉強・研究したいのか、関心を深めたい分野は何であるのかをしっかりと見極めて、与えられた「自由」を十分に生かした4年間の学業プランを練るよう心がけること。

(7) 実習科目

教育職員免許状取得に必要な科目で、課程登録している免許に該当する科目を修得しなければならない。この科目は、卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数には含まれない科目である。

(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目

教育学部は、他大学、他学部・他専攻（一部の科目）等の授業科目の履修で修得した単位については、自由選択単位として25単位を限度として卒業要件単位に認められることがある。

《他大学履修》

ア. 放送大学

単位互換協定に基づき、『特別聴講学生』として放送大学の科目のうち本学指定科目の履修ができる。

放送大学の出願手続きは、前年度内に行われるため既に本学経由で手続きを完了した者のみの履修となる。

イ. 交換留学制度

交換留学先の大学や募集要項については、国際交流室へ問合せてください。

募集要項は掲示しますので、希望者は所定期間内に志願し、手続きをしてください。

《他学部・他専攻履修》

所属専攻で開講されていない科目とするが、履修は開講先の所属生が優先となるため、科目によって履修条件や人数制限等がある場合や事前登録が必要となる場合などがある。

(注) 平成30年度の該当科目や履修手続き方法の詳細は、年度始めに掲示やガイダンス等で確認すること。

- ・履修年次、単位、授業内容等は、開講先の学部・学科（専攻）の履修要綱を参照のこと。
- ・授業に関する連絡事項や試験等の連絡は、開講先の学部・学科（専攻）の掲示板で確認すること。

(9) 随意科目

卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数に含まれない科目である。科目が指定され、科目によっては履修対象者が限定されることがある。また、履修制限をすることがあるため、掲示等に注意すること。

(10) 再履修について

2年次以降に係わる履修

再履修とは 履修の結果「不合格」「失格」となった科目を再度履修すること。
必修科目は必ず履修しなければならないが、選択科目は別の科目を履修してもよい。

再履修方法 上級年次の学生は、下級年次配当科目より授業科目を履修できる。
各科目の再履修方法の概要は次のとおりである。

※未修得の学生も再履修者と同様の手続きが必要になる場合やクラスを指定する
場合があるので、掲示や4月のガイダンス等によく確認すること。

I 群：外国語必修科目 1クラスの人数に制限があるため、教務課の指示に従うこと。再履修クラスを設定したり、クラスに組み入れる場合には先着順で事前登録を実施する場合がある。

II 群：外国語・教養選択科目 開講科目の中から、不足単位分を修得する。別科目を選択してもよい。

III 群：専攻必修科目 (必修) 再履修者の人数に応じて、再履修クラスを開講する場合がある。特別に指示がない場合には、下級年次生の「時間割」に従って履修する。

IV 群：専門選択科目・V 群：卒業研究

- ・特別に指示がない場合には、「時間割」に従って履修する。
- ・心理学特別研究や卒業研究の科目は、事前に選考を受けなければならない。

上記以外の科目 実習科目…再履修は原則認めない。

2. カリキュラム表 (教育学部 発達科学科 心理学専攻)

科目区分		科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種(社会)	高一種(公民)	中一種(社会) 高一種(公民)	認定心理士	公認心理師
I群	外国語必修科目	英語コミュニケーションⅠ	2	1	演習	30	4単位	必	必	必	必	必
		英語コミュニケーションⅡ	2	2	演習	30		必	必	必	必	必
II群	外国語・教養選択科目	基礎英語A	1	1~	演習	30	16単位					
		基礎英語B	1	1~	演習	30						
		ReadingⅠA	1	1~	演習	30						
		ReadingⅠB	1	1~	演習	30						
		ReadingⅡA	1	2~	演習	30						
		ReadingⅡB	1	2~	演習	30						
		WritingⅠA	1	1~	演習	30						
		WritingⅠB	1	1~	演習	30						
		WritingⅡA	1	2~	演習	30						
		WritingⅡB	1	2~	演習	30						
		Vocabulary A	1	1~	演習	30						
		Vocabulary B	1	1~	演習	30						
		ドイツ語ⅠA	2	1~	演習	30						
		ドイツ語ⅠB	2	1~	演習	30						
		ドイツ語ⅡA	1	2~	演習	30						
		ドイツ語ⅡB	1	2~	演習	30						
		ドイツ語ⅢA	1	2~	演習	30						
		ドイツ語ⅢB	1	2~	演習	30						
		ドイツ語ⅣA	1	2~	演習	30						
		ドイツ語ⅣB	1	2~	演習	30						
		フランス語ⅠA	2	1~	演習	30						
		フランス語ⅠB	2	1~	演習	30						
		フランス語ⅡA	1	2~	演習	30						
		フランス語ⅡB	1	2~	演習	30						
		フランス語ⅢA	1	2~	演習	30						
		フランス語ⅢB	1	2~	演習	30						
		フランス語ⅣA	1	2~	演習	30						
		フランス語ⅣB	1	2~	演習	30						
		スペイン語ⅠA	2	1~	演習	30						
		スペイン語ⅠB	2	1~	演習	30						
		スペイン語ⅡA	1	2~	演習	30						
		スペイン語ⅡB	1	2~	演習	30						
スペイン語ⅢA	1	2~	演習	30								
スペイン語ⅢB	1	2~	演習	30								

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

科目区分	科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種(社会)	高一種(公民)	中一種(社会) 高一種(公民)	認定心理士	公認心理師			
Ⅱ群	外国語・教養選択科目	スペイン語ⅣA	1	2~	演習	30	(16単位)							
		スペイン語ⅣB	1	2~	演習	30								
		中国語ⅠA	2	1~	演習	30								
		中国語ⅠB	2	1~	演習	30								
		中国語ⅡA	1	2~	演習	30								
		中国語ⅡB	1	2~	演習	30								
		中国語ⅢA	1	2~	演習	30								
		中国語ⅢB	1	2~	演習	30								
		中国語ⅣA	1	2~	演習	30								
		中国語ⅣB	1	2~	演習	30								
		韓国語ⅠA	2	1~	演習	30								
		韓国語ⅠB	2	1~	演習	30								
		韓国語ⅡA	1	2~	演習	30								
		韓国語ⅡB	1	2~	演習	30								
		韓国語ⅢA	1	2~	演習	30								
		韓国語ⅢB	1	2~	演習	30								
		韓国語ⅣA	1	2~	演習	30								
		韓国語ⅣB	1	2~	演習	30								
		歴史学A	2	1~	講義	15								
		歴史学B	2	1~	講義	15								
		地理学A	2	1~	講義	15								
		地理学B	2	1~	講義	15								
		倫理学A	2	1~	講義	15								
		倫理学B	2	1~	講義	15								
		応用倫理A	2	1~	講義	15								
		応用倫理B	2	1~	講義	15								
		哲学A	2	1~	講義	15								
		哲学B	2	1~	講義	15								
		文学A	2	1~	講義	15								
		文学B	2	1~	講義	15								
		クリティカルシンキングA	2	1~	講義	15								
		クリティカルシンキングB	2	1~	講義	15								
		国語表現法A	2	1~	講義	15								
		国語表現法B	2	1~	講義	15								
		美学A	2	1~	講義	15								
		美学B	2	1~	講義	15								

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

科目区分	科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一層(社会)	高一層(公民)	中一層(社会)高一層(公民)	認定心理士	公認心理師		
Ⅱ群	外国語・教養選択科目	比較文化論A	2	1~	講義	15	選	選	選				
		比較文化論B	2	1~	講義	15	選	選	選				
		文化人類学A	2	1~	講義	15	選	選	選				
		文化人類学B	2	1~	講義	15	選	選	選				
		社会学A	2	1~	講義	15							
		社会学B	2	1~	講義	15							
		法学A(国際法を含む)	2	1~	講義	15							
		法学B(国際法を含む)	2	1~	講義	15							
		統計学A	2	1~	講義	15					選必		
		統計学B	2	1~	講義	15					選必		
		心理学A	2	1~	講義	15					選必		
		心理学B	2	1~	講義	15					選必		
		社会心理学A	2	1~	講義	15					選必		
		社会心理学B	2	1~	講義	15					選必		
		政治学A(国際政治を含む)	2	1~	講義	15							
		政治学B(国際政治を含む)	2	1~	講義	15							
		情報社会科学A	2	1~	講義	15							
		情報社会科学B	2	1~	講義	15							
		環境科学A	2	1~	講義	15							
		環境科学B	2	1~	講義	15							
		代数学	2	1~	講義	15							
		解析学	2	1~	講義	15							
		数学概論A	2	1~	講義	15							
		数学概論B	2	1~	講義	15							
		物理学A	2	1~	講義	15							
		物理学B	2	1~	講義	15							
		化学A	2	1~	講義	15							
		化学B	2	1~	講義	15							
		生物学A	2	1~	講義	15							
		生物学B	2	1~	講義	15							
		科学史A	2	1~	講義	15							
		科学史B	2	1~	講義	15							
		日本国憲法	2	1~	講義	15			必	必	必		
		健康科学	2	1~	講義	15							
体育実技A	1	1~	実技	30			必	必	必				
体育実技B	1	1~	実技	30			必	必	必				
情報処理	2	1~	演習	15			必	必	必				

(16単位)

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

科目区分		科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種(社会)	高一種(公民)	中一種(社会) 高一種(公民)	認定心理士	公認心理師		
Ⅱ群	教養選抜科目 外国語	マナーの基本	2	1～	講義	15	(16単位)							
		キャリアデザイン	2	1～	講義	15								
		コミュニケーション能力を磨こう	2	1～	講義	15								
		教養特講(講義)	2	1～	講義	15								
		教養特講(演習)	1	1～	演習	30								
Ⅲ群	専攻必修科目	フレッシュマンセミナー	1	1	演習	30	1単位	必	必	必	必	必		
Ⅳ群	専門選抜科目	専攻専門科目	心理学概論A	2	1～	講義	15	74単位		選必	選必	選必	必	
			心理学概論B	2	1～	講義	15			選必	選必	選必	必	
			社会・集団・家族心理学	2	1～	講義	15			選	選	選必	必	
			心理学研究法	2	1～	講義	15					選必	必	
			心理学統計法Ⅰ	2	2～	講義	15					選必	必	
			心理学統計法Ⅱ	2	3～	講義	15					選必	必	
			心理学実験Ⅰ	4	2～	実験	30					選必	必	
			心理学実験Ⅱ	4	2～	実験	30					選必	必	
			学習・言語心理学	2	2～	講義	15					選必	必	
			知覚・認知心理学	2	2～	講義	15					選必	必	
			発達心理学	2	2～	講義	15				選	選	選必	必
			青年心理学	2	2～	講義	15				選	選	選必	
			神経・生理心理学	2	2～	講義	15						選必	必
			比較心理学	2	2～	講義	15						選必	
			感情・人格心理学	2	2～	講義	15				選	選	選必	必
			司法・犯罪心理学	2	2～	講義	15						選必	必
			臨床心理学概論	2	2～	講義	15						選必	必
			健康・医療心理学	2	2～	講義	15						選必	必
			精神疾患とその治療	2	2～	講義	15							必
			障害者・障害児心理学	2	2～	講義	15						選必	必
			環境心理学	2	2～	講義	15				選	選	選必	
			産業・組織心理学	2	2～	講義	15						選必	必
			教育の測定と評価	2	3～	講義	15						選必	
			外書講読	2	3～	演習	30						選必	
			精神分析学	2	2～	講義	15						選必	
			体育心理学	2	2～	講義	15						選必	
			心理学特別研究A	2	3～	演習	30						選必	
			心理学特別研究B	2	3～	演習	30						選必	
心理学特講Ⅰ(講義)	2	1～	講義	15										
心理学特講Ⅰ(演習)	1	1～	演習	30										

：「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ◆…該当資格希望者のみ履修可能

Ⅳ
心理学

科目区分		科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種 (社会)	高一種 (公民)	中一種 (社会) 高一種 (公民)	認定 心理士	公認 心理師	
IV 心理学	専攻専門科目	心理学特講Ⅱ（講義）	4	1～	講義	15							
		心理学特講Ⅱ（演習）	2	1～	演習	30							
		キャリア心理学	2	1～	講義	15					選必		
		公認心理師の職責	2	2～	講義	15						必	
		教育・学校心理学	2	2～	講義	15					選必	必	
		心理的アセスメント	2	2～	講義	15					選必	必	
		心理学的支援法	2	2～	講義	15					選必	必	
		人体の構造と機能及び疾病	2	2～	講義	15							必
		福祉心理学	2	2～	講義	15					選必	必	
		関係行政論	2	2～	講義	15							必
	教科専門科目	日本史概論	2	1～	講義	15		必		必			
		外国史概論	2	1～	講義	15		必		必			
		地理学概論（地誌を含む）	2	1～	講義	15		必		必			
		法学概論（国際法を含む）	2	1～	講義	15		選必	選必	選必			
		政治学概論（国際政治を含む）	2	1～	講義	15		選必	選必	選必			
		社会学概論	2	1～	講義	15		選必	選必	選必			
		経済学概論（国際経済を含む）	2	1～	講義	15		選必	選必	選必			
		行動経済学	2	2～	講義	15		選	選	選			
		倫理学概論	2	1～	講義	15		選必	選必	選必			
		哲学概論	2	1～	講義	15		選必	選必	選必			
	教職専門科目	論理学	4	1～	講義	15		選	選	選			
		教師論	2	2～	講義	15		必	必	必			
		教育基礎論	2	1～	講義	15		必	必	必			
		教育心理学	2	1～	講義	15		必	必	必	選必		
		教育制度論	2	1～	講義	15		必	必	必			
		教育課程論S	2	3～	講義	15		必	必	必			
		社会科教育法Ⅰ	2	2～	講義	15		◆必	◆	◆必	◆	◆	◆
		社会科教育法Ⅱ	2	2～	講義	15		◆必	◆	◆必	◆	◆	◆
		社会科教育法Ⅲ	2	2～	講義	15		◆必	◆	◆必	◆	◆	◆
		社会科・公民科教育法	2	2～	講義	15		◆選	◆必	◆必	◆	◆	◆
	公民科教育法	2	2～	講義	15		◆	◆必	◆必	◆	◆	◆	
	道徳教育の理論と方法S	2	1～	講義	15		必	選	必				
	特別活動の理論と方法S	2	2～	講義	15		必	必	必				
	教育方法論S	2	1～	講義	15		◆必	◆必	◆必	◆	◆	◆	
	生徒指導論（進路指導を含む）	2	2～	講義	15		必	必	必				
	教育相談S	2	2～	講義	15		必	必	必				

(74単位)

：「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
◆…該当資格希望者のみ履修可能

科目区分		科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一選 (社会)	高一選 (公民)	中一選 (社会) 高一選 (公民)	認定 心理士	公認 心理師		
IV群	教職専門科目	比較教育論	2	2～	講義	15	(74単位)	選	選	選				
		人権教育	2	3～	講義	15		選	選	選				
	学科共通科目	造形文化論	2	1～	講義	15								
		おもちゃ論	2	2～	講義	15								
		福祉とボランティア	2	1～	講義	15								
		レクリエーション理論	2	2～	講義	15								
		レクリエーション実技	1	2～	演習	30								
		レクリエーション実習	1	3～	実習	30								
		野外運動A (キャンプ)	2	1～	演習	30								
		野外運動B (雪上)	2	1～	演習	30								
		救急法	2	1～	講義	15								
		Teaching English to Children	2	2～	講義	15								
		e-ラーニング	1	1～	演習	30								
		教育情報処理	2	1～	演習	30								
		健康教育リテラシー	4	3～	講義	15								
		女性学	2	1～	講義	15								
		TOEIC I	1	1～	演習	30								
		TOEIC II	1	2～	演習	30								
		TOEFL I	1	1～	演習	30								
		TOEFL II	1	2～	演習	30								
		Picture Books	2	1～	講義	15								
	特講	専門特講 (講義)	2	1～	講義	15								
		専門特講 (演習)	1	1～	演習	30								
V群	卒業研究	卒業研究	4	4	演習	30	4単位	必	必	必	必	必		
	自由選択	・ II群の最低修得単位を超えた単位数 ・ IV群の最低修得単位を超えた単位数 ・ 他学部・他専攻科目 (指定科目)					25単位							
卒業所要単位							124単位							

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

・◆…該当資格希望者のみ履修可能

・◆レ…レクリエーション・インストラクターの登録者で、教育実習を履修していない者のみ履修可能

科目区分	科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種(社会)	高一種(公民)	中一種(社会)高一種(公民)	認定心理士	公認心理師
実習科目	教育実習の事前事後指導S	1	3~	講義	30	卒業単位に含めない (注1)	◆必	◆必	◆必		
	教育実習Ⅰ	4	3~	実習	45		◆必		◆必		
	教育実習Ⅱ	2	3~	実習	45			◆必			
	教育実習Ⅲ	2	3~	実習	45		※許可された者のみ				
	教職実践演習(中・高)(注2)	2	4	演習	15		◆必	◆必	◆必		

(注1) 教育実習の事前事後指導と該当の実習が完了しないと単位は付与されない
 (注2) 教育実習を修了していないと履修できない

◆…該当資格希望者のみ履修可能

科目区分	科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	卒業所要単位	中一種(社会)	高一種(公民)	中一種(社会)高一種(公民)	認定心理士	公認心理師
公認心理師実習・演習科目	心理実習(注3)	2	3~	実習	40					選必	必
	心理演習Ⅰ(心理面接)(注3)	1	3~	演習	30					選必	必
	心理演習Ⅱ(心理検査)(注3)	1	3~	演習	30					選必	必

(注3) 履修制限を行う場合がある。履修手続き方法の詳細は、年度始めに掲示やガイダンス等で確認すること。

3. 心理学専攻 卒業・免許別所要単位数

卒業所要単位	124		
免許名	中一種免(社会)	高一種免(公民)	中一種免(社会)高一種免(公民)
実習科目(注4)	7	5	7
合計単位	131	129	131

(注4) 希望する免許に開設された実習科目の履修を必要とするが、卒業所要単位には含まれない。

履修要綱等の配付について

この履修要綱は入学時に配付し、卒業まで使用することになります。(在学中1度の配付)

履修要綱にはカリキュラムや履修についての基準、試験および成績に関する事項など重要な内容が掲載されています。熟読し、卒業まで活用してください。

なお、履修要綱の記載内容に変更が生じた場合は、掲示板等でお知らせしますので、必ず確認し、指示に従ってください。

また、履修要綱とは別に配付される『時間割・履修登録の手引き』や『学生のとびき(キャンパスガイド)』においても、履修登録の手続き方法、試験や授業に関する事項を掲載しますので、合わせてよく確認し、活用してください。

担当窓口一覧

〔本キャンパス〕

2018.4月現在

部署名・直通電話番号	主な取扱事項（業務内容）	場 所
教務課 0285-20-8111	履修登録、授業、休講、補講、定期試験、追試験、再試験、成績、レポート	2階
学生課 0285-20-8119	各種証明書発行（教職関係を除く）、定期試験用仮学生証の発行、学生証の再発行、個人情報（住所等）の変更、奨学金、課外活動、学籍の異動（休学・退学等）	2階
健康管理センター 0285-20-8105	定期健康診断、健康相談、応急処置、健康診断書発行、学生相談受付、学生保険	2階
図書館本館 0285-20-8100	図書資料の閲覧・貸出返却、レファレンス	2階～4階
総務課 0285-20-8101	大学全体の庶務事項、学生納付金、学生募集、入学試験	2階
進路支援課 0285-24-4300	民間企業・進学等の進路相談・支援に関すること アルバイト、ボランティアに関すること	2階
公務員支援室 0285-24-4300	公務員採用試験対策支援に関すること	2階
資格支援課 0285-20-8113	資格試験・検定試験及び資格講座申込みに関すること	2階

〔大行寺キャンパス〕

2018.4月現在

部署名・直通電話番号	主な取扱事項（業務内容）	場 所
教務課 0285-26-2519	履修登録に関すること、授業・休講・補講に関すること、出席情報に関すること、定期試験・追試験・再試験に関すること、成績に関すること	本館1階
学生課 0285-26-2513	各種証明書発行（教職関係を除く）、定期試験用仮学生証の発行、学生証の再発行、個人情報（住所等）の変更、奨学金、学生寮、課外活動、学籍の異動（休学・退学等）、学生保険	2号館2階
学生相談室 0285-26-2513	学生生活全般にわたる相談、カウンセリングの予約受付	2号館2階
実習指導室 0285-22-9891	教育職員免許状、保育士資格、実習、証明書発行（教員免許・保育士関係）、スクールサポート、免許状更新講習	本館1階
情報処理教育研究センター （センター管理室） 0285-22-9794	教育支援システム（Web Class）、コンピュータ室のオープン利用、ユーザID、メールアドレスの取得、コンピュータに関する相談・サポート	マルベリーホール3階
国際交流室 0285-26-2518	海外研修、交換留学、留学生関連全般	本館2階
経理部 0285-26-2515	学生納付金	本館2階

健康管理室 0285-26-2514	定期健康診断、健康相談、応急処置、健康診断書発行、 学生相談受付	本館1階
進路支援課 0285-22-9722	民間企業・幼稚園・保育園・進学等の進路相談・支援に 関すること。アルバイト、ボランティアに関すること	2号館2階
教職支援室 0285-22-0055	教員採用試験対策支援、臨時的任用支援に関すること 教職に就く支援全般	2号館2階
資格支援課 0285-22-9722	資格試験・検定試験及び資格講座申込みに関すること	2号館2階
図書館分館 0285-22-9737	図書資料の閲覧・貸出返却、レファレンス	3号館地下 1階～2階
入試部 0285-26-2516	学生募集、入学試験、オープンキャンパス	本館2階
総務課 0285-26-2512	大学全体の庶務事項、入学式、卒業式など	本館1階
施設管理課 0285-26-2512	学内施設設備の管理・営繕、防火・防災、保守、清掃	本館1階
地域連携サポートセンター 0285-22-9790	公開講座、市民開放講座、出前講座、高大連携事業、 教育連携事業支援、大学コンソーシアムとちぎ	本館2階
広報室 0285-26-2517	大学案内（パンフレット）、白鷺ニュースの制作、ニュー ス配信など	本館2階
経営企画課 0285-26-2511	大学評価及び大学の教育研究活動等の点検・評価 諸規程の立案・整備、スタッフ・ディベロップメント 教員業績書管理、科学研究費補助金	本館2階
鷗友会事務局 0285-22-9890	白鷺大学・短大・大学院の同窓会に関する全般	本館2階

2018年度 履修要綱

白鷗大学 教育学部

平成30年4月1日 発行

編集・発行 白鷗大学事務局

〒323-8585

栃木県小山市大行寺1117番地

電話 0285-22-1111(代表)

ホームページ <http://hakuoh.jp/>



緑のチェッカーは五大陸を、
青いストライプは三大洋を表し、
広く世界を見つめる姿勢を表現しています。

白鷗大学 教育学部

2018年度生